目　　次

本　　編

目　次　　頁

1　平成 25 年度 図書館基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

2　平成 24 年度 事業報告

施策１ 蔵書の充実（収集と保存）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

(1)平成 24 年度資料種別受入冊数一般書

(2)平成 24 年度図書分類別受入冊数と年度末蔵書数

(3)平成 24 年度中の蔵書増加冊数と年度末蔵書数 (4)平成 24 年度リクエスト購入冊数

(5)平成 24 年度受入新聞と雑誌等逐次刊行物 (6)平成 24 年度郷土資料の製本数

(7)平成 24 年度郷土資料保存事業 (8)平成 24 年度外国語図書受入数と年度末蔵書冊数

(9)平成 24 年度視聴覚資料受入数と年度末数 (10)寄贈資料 (11)平成 24 年度リユース

施策２ 資料及び情報提供の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15

(1)図書等の貸出 (2)調査相談の充実 (3)生活およびビジネス支援の向上

施策３ 利用者に応じた「よむとす」の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　20

(1)次世代育成のためのよむとす (2)分館サービスの推進

(3)障がい者･高齢者サービスの充実 (4)多文化サービスの推進 (5)市民との協働

3　平成 24 年度 主な行事等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　34

資 料 編

1　沿　革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　37

2　施　設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　44

3　職　員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　45

4　図書館協議会委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　46

5　利用案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　47

6　予　算

（1）　当初予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　47

（2）　平成 24 年度 決算額一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　48

7　図書館貴重資料など

（1）　マイクロフィルム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　49

（2）　デジタル資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　49

（3）　特殊コレクション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　50

8　利用状況

（1）　貸出年度別統計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　52

（2）　飯田市立図書館利用者（貸出者）数推移・・・・・・・・・・・・・・・・・　53

（3）　飯田市立図書館貸出冊数推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　53

（4）　平成 24 年度 利用が多かった本ベスト 10・・・・・・・・・・・・・・・・　54

（5）　利用統計数値（サービス効果）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　55

9　図書館関係団体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　56

【平成 25 年度　教育方針(理念)】

飯田市の教育は、「ムトスの心」と「結いの心」を継承し、「地育力」を向上させ、郷土に愛着と誇りを持って育ち合う、心豊かな人づくりに取り組みます。市民一人ひとりが主人公となり、人と自然が調和する文化の薫りの高いふるさとづくりの教育を推進します。

大人も子どももふるさとを慈しみ、夢をもって共に学びながら生きる力を育む教育を進めます。

【平成 25 年度　図書館　基本方針】　〔地域の知の拠点として、市民の生涯学習に寄与〕

サービス計画に掲げた次の二つを基本方針とし、各施策の実現を目指します。

Ⅰ暮らしと仕事と地域に役立つ図書館を目指します

Ⅱ本と人が出会い、学びが広がる図書館を目指します

施　策	施 策 の 展 開
1　蔵書の充実 （収集と保存）	(1)図書資料
	(2)雑誌及び新聞資料
	(3)郷土資料
	(4)外国語資料
	(5)その他資料
	(6)資料の保存及び除籍
2　資料(図書、雑誌等) 及び情報提供の充実	(1)図書等の貸出
	(2)調査相談(レファレンス)の充実
	(3)生活及びビジネス支援の向上
3　利用者に応じた 「よむとす」の推進	(1)次世代育成のためのよむとす
	(2)分館サービスの推進
	(3)高齢者・障がい者サービスの充実
	(4)多文化サービスの推進

【平成 25 年度　図書館　重点事業】

(1)「はじめまして絵本」事業についてのアンケートを実施し、家庭読書普及活動の振り返りを行う。

(2)市民関係団体、研究者、各課館所の研究成果等の収集・保存方法を検討する。

(3)蔵書検索システムに登録した美術博物館、歴史研究所等の所蔵図書のデータ公開を行い、各施設所蔵資料の有効活用を図る。

(4)郷土の新聞や雑誌、貴重資料のデジタル化・マイクロフィルム化を進める。

(5)ビジネス支援等を目的に多数所蔵している社史を活用した情報発信を行う。

施策 1　蔵書の充実（収集と保存）

図書館サービス計画に沿って収集方針、除籍方針を見直し、市民への公開（H25.2.1 ホームページ掲載）を行った。

「暮らしと仕事」に役立つ資料として経済、工業、技術、農業、産業分野の実務書で利用が見込まれるものや、内容が新しくなって新版が出版されたものなどを積極的に購入した。また雑誌においても要望のあった専門誌を検討し、「税経通信」「新建築」「日経グローカル」等を新規に受入することとした。

郷土資料においては、平成 24 年度も緊急雇用創出事業として県の交付金を受け、劣化の激しい地元新聞や郷土雑誌等のデジタル化、マイクロ化を行ない、貴重な地域資料の保存に努めた。

外国語図書においては、中央図書館では要望や利用の多い中国語の児童書を、上郷図書館ではコルデコット賞受賞絵本を中心に購入した。視聴覚資料は上郷図書館で、飯田縁りの落語家（立川談志、桂文珍など）のＣＤを中心に購入した。

市役所行政資料コーナーで保管してきた統計資料の移管を受け、活用できるようにした。

分館では、資料データ登録により所蔵資料の把握ができ、児童の基本図書等で足りなかったものを補充することができた。

(1)平成 24 年度資料種別受入冊数

①中央図書館　　（上段：受入冊数　下段：割合）

一般	郷土	ヤングアダルト	児童書 紙芝居含む	外国語	雑誌	AV	視覚障がい者用AV	合計
8,467	2,360	678	2,086	85	2,834	55	171	16,736
50.59%	14.10%	4.05%	12.46%	0.51%	16.93%	0.33%	1.02%	100%

再掲

購入	寄贈	保管替等
11,577	3,865	1,294
69.17%	23.09%	7.73%

②鼎図書館　　（上段：受入冊数　下段：割合）

一般	郷土	ヤングアダルト	児童書 紙芝居含む	外国語	雑誌	AV	視覚障がい者用AV	合計
1,571	111	194	911	0	820	9	0	3,616
43.45%	3.07%	5.37%	25.19%	0.00%	22.68%	0.25%	0.00%	100%

再掲

購入	寄贈	保管替等
3,218	286	112
88.99%	7.91%	3.10%

③上郷図書館　　（上段：受入冊数　下段：割合）

一般	郷土	ティーンズ	児童書 紙芝居含む	外国語	雑誌	AV	視覚障がい者用AV	合計
2,564	277	509	1,900	46	1,109	44	0	6,449
39.76%	4.30%	7.89%	29.46%	0.71%	17.20%	0.68%	0.00%	100%

再掲

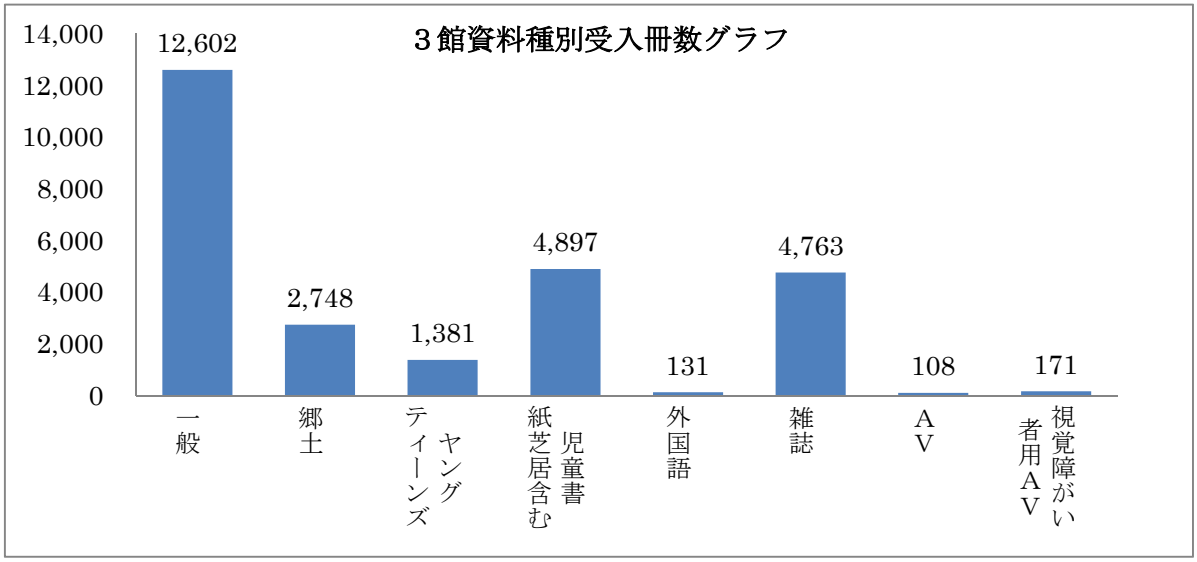
購入	寄贈	保管替等
5,476	792	181
84.91%	12.28%	2.81%

④３館合計　　（上段：受入冊数　下段：割合）

一般	郷土	ヤング ティーンズ	児童書 紙芝居含む	外国語	雑誌	AV	視覚障がい者用AV	合計
12,602	2,748	1,381	4,897	131	4,763	108	171	26,801
47.02%	10.25%	5.15%	18.27%	0.49%	17.77%	0.40%	0.64%	100%

再掲

購入	寄贈	保管替等
20,271	4,943	1,587
75.64%	18.44%	5.92%



(2)平成 24 年度図書分類別受入冊数と年度末蔵書数

①中央図書館　一般書

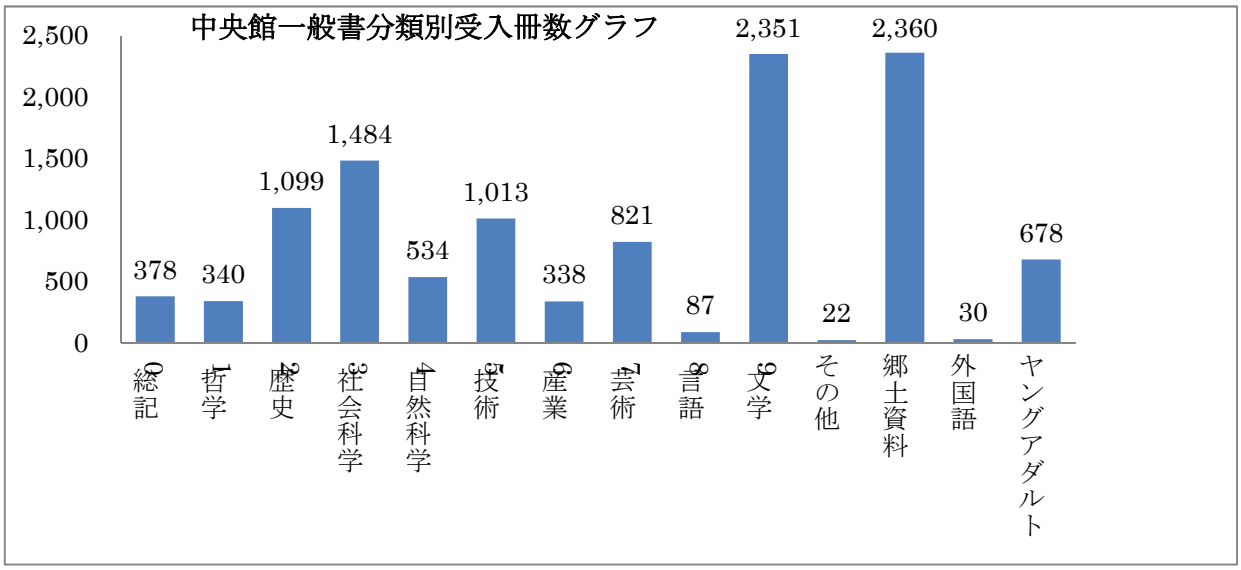
ア　分類別受入冊数　　（上段：受入冊数　下段：割合）

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語	9文学
378	340	1,099	1,484	534	1,013	338	821	87	2,351
3.28%	2.95%	9.53%	12.87%	4.63%	8.78%	2.93%	7.12%	0.75%	20.38%

その他	郷土資料	外国語	ヤングアダルト	計
22	2,360	30	678	11,535
0.19%	20.46%	0.26%	5.88%	100.00%

再掲

参考図書	文庫	大活字本
86	763	59
0.75%	6.61%	0.51%



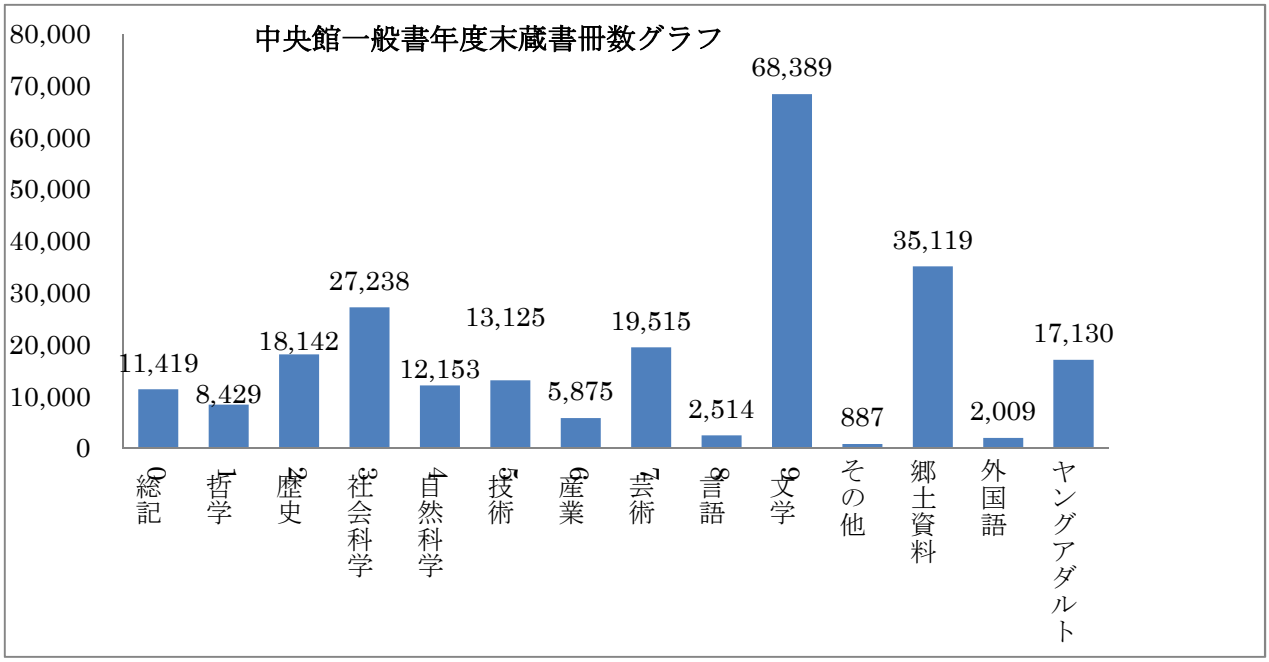
イ　年度末蔵書数　　（上段：受入冊数　下段：割合）

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語	9文学
11,419	8,429	18,142	27,238	12,153	13,125	5,875	19,515	2,514	68,389
4.72%	3.48%	7.50%	11.26%	5.02%	5.42%	2.43%	8.07%	1.04%	28.27%

その他	郷土資料	外国語	ヤングアダルト	計
887	35,119	2,009	17,130	241,944
0.37%	14.52%	0.83%	7.08%	100.00%

再掲

参考図書	文庫	大活字本
2,503	10,362	770
1.03%	4.28%	0.32%



②鼎図書館　一般書

ア 分類別受入冊数　（上段：受入冊数　下段：割合）

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語	9文学
54	53	238	135	104	184	45	74	10	667
2.88%	2.83%	12.69%	7.20%	5.54%	9.81%	2.40%	3.94%	0.53%	35.55%

その他	郷土資料	外国語	ヤングアダルト	計
7	111	0	194	1,876
0.37%	5.92%	0.00%	10.34%	100.00%

再掲

参考図書	文庫	大活字本
1	330	0
0.05%	17.59%	0.00%

イ 年度末蔵書数　（上段：受入冊数　下段：割合）

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語	9文学
993	614	2,006	1,973	1,424	2,718	529	1,969	284	11,719
3.22%	1.99%	6.51%	6.41%	4.62%	8.83%	1.72%	6.39%	0.92%	38.05%

その他	郷土資料	外国語	ヤングアダルト	計
62	3,427	0	3,078	30,796
0.20%	11.13%	0.00%	9.99%	100.00%

再掲

参考図書	文庫	大活字本
83	2,620	138
0.27%	8.51%	0.45%

③上郷図書館　一般書

ア 分類別受入冊数　（上段：受入冊数　下段：割合）

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語	9文学
118	104	234	363	212	352	76	223	30	850
3.77%	3.32%	7.47%	11.59%	6.77%	11.24%	2.43%	7.12%	0.96%	27.15%

その他	郷土資料	外国語	ティーンズ	計
2	277	2	288	3,131
0.06%	8.85%	0.06%	9.20%	100.00%

再掲

参考図書	文庫	大活字本
4	236	13
0.13%	7.54%	0.42%

イ 年度末蔵書数　（上段：受入冊数　下段：割合）

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語	9文学
3,263	2,377	7,003	10,458	5,140	7,094	2,049	8,927	1,801	33,465
3.30%	2.40%	7.08%	10.58%	5.20%	7.17%	2.07%	9.03%	1.82%	33.84%

その他	郷土資料	外国語	ティーンズ	計
54	8,151	87	9,013	98,882
0.05%	8.24%	0.09%	9.11%	100.00%

再掲

参考図書	文庫	大活字本
517	5,436	959
0.52%	5.50%	0.97%

④３館合計　一般書

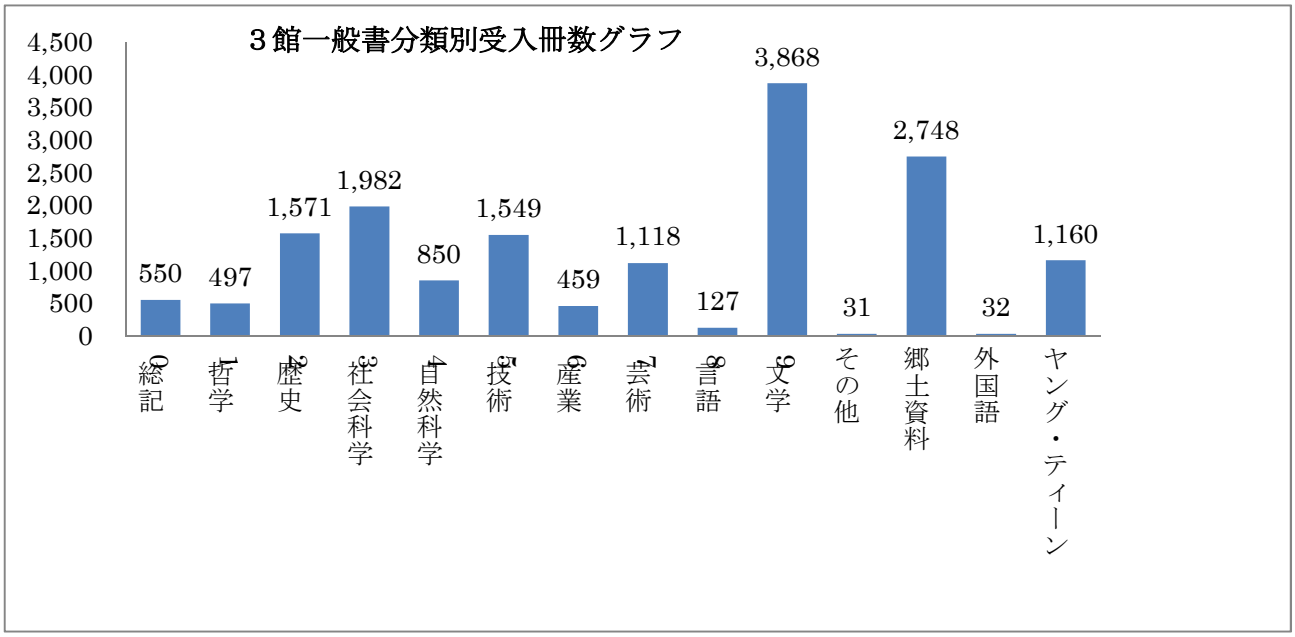
ア 分類別受入冊数　（上段：受入冊数　下段：割合）

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語	9文学
550	497	1,571	1,982	850	1,549	459	1,118	127	3,868
3.32%	3.00%	9.50%	11.98%	5.14%	9.36%	2.77%	6.76%	0.77%	23.38%

その他	郷土資料	外国語	ヤング・ティーン	計
31	2,748	32	1,160	16,542
0.19%	16.61%	0.19%	7.01%	100.00%

再掲

参考図書	文庫	大活字本
91	1,329	72
0.55%	8.03%	0.44%



イ　年度末蔵書数

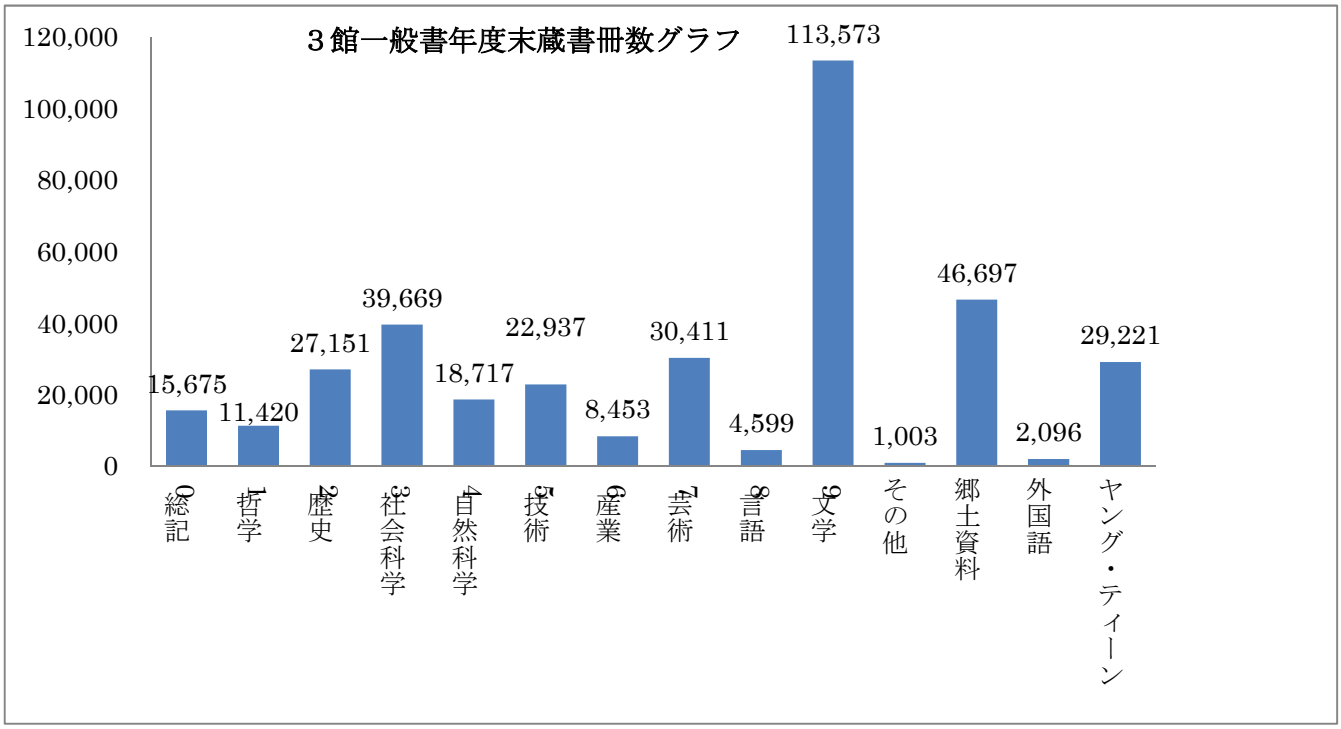
（上段：受入冊数　下段：割合）

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語	9文学
15,675	11,420	27,151	39,669	18,717	22,937	8,453	30,411	4,599	113,573
4.22%	3.07%	7.31%	10.67%	5.04%	6.17%	2.27%	8.18%	1.24%	30.56%

その他	郷土資料	外国語	ヤング･ティーン	計
1,003	46,697	2,096	29,221	371,622
0.27%	12.57%	0.56%	7.86%	100.00%

再掲

参考図書	文庫	大活字本
3,103	18,418	1,867
0.83%	4.96%	0.50%



⑤中央図書館　児童書

ア 分類別受入冊数　（上段：受入冊数　下段：割合）

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
18	18	61	116	238	75	38	95	24
0.84%	0.84%	2.85%	5.42%	11.12%	3.50%	1.77%	4.44%	1.12%

9文学	絵本	紙芝居	外国語	計
359	1,007	37	55	2,141
16.77%	47.03%	1.73%	2.57%	100.00%

イ 年度末蔵書数　（上段：受入冊数　下段：割合）

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
741	319	2,406	2,499	7,297	1,835	1,022	3,248	532
1.07%	0.46%	3.48%	3.61%	10.55%	2.65%	1.48%	4.69%	0.77%

9文学	絵本	紙芝居	外国語	その他	計
20,787	26,289	1,697	511	8	69,191
30.04%	37.99%	2.45%	0.74%	0.01%	100.00%

⑥鼎図書館　児童書

ア 分類別受入冊数　（上段：受入冊数　下段：割合）

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
19	6	45	20	70	33	16	45	1
2.09%	0.66%	4.94%	2.20%	7.68%	3.62%	1.76%	4.94%	0.11%

9文学	絵本	紙芝居	外国語	計
162	487	7	0	911
17.78%	53.46%	0.77%	0.00%	100.00%

イ 年度末蔵書数　（上段：受入冊数　下段：割合）

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
332	95	721	657	1,992	653	309	1,131	198
1.46%	0.42%	3.18%	2.90%	8.78%	2.88%	1.36%	4.99%	0.87%

9文学	絵本	紙芝居	外国語	計
5,745	10,119	719	11	22,682
25.33%	44.61%	3.17%	0.05%	100.00%

⑦上郷図書館　児童書

ア 分類別受入冊数　　（上段：受入冊数　下段：割合）

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
25	10	30	84	113	52	43	71	26
1.15%	0.46%	1.39%	3.88%	5.22%	2.40%	1.99%	3.28%	1.20%

9文学	絵本	紙芝居	外国語	ティーンズ	計
212	1,198	36	44	221	2,165
9.79%	55.33%	1.66%	2.03%	10.21%	100.00%

イ 年度末蔵書数　　（上段：受入冊数　下段：割合）

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
660	102	533	1,542	3,534	1,262	677	1,833	403
1.14%	0.18%	0.92%	2.66%	6.09%	2.18%	1.17%	3.16%	0.69%

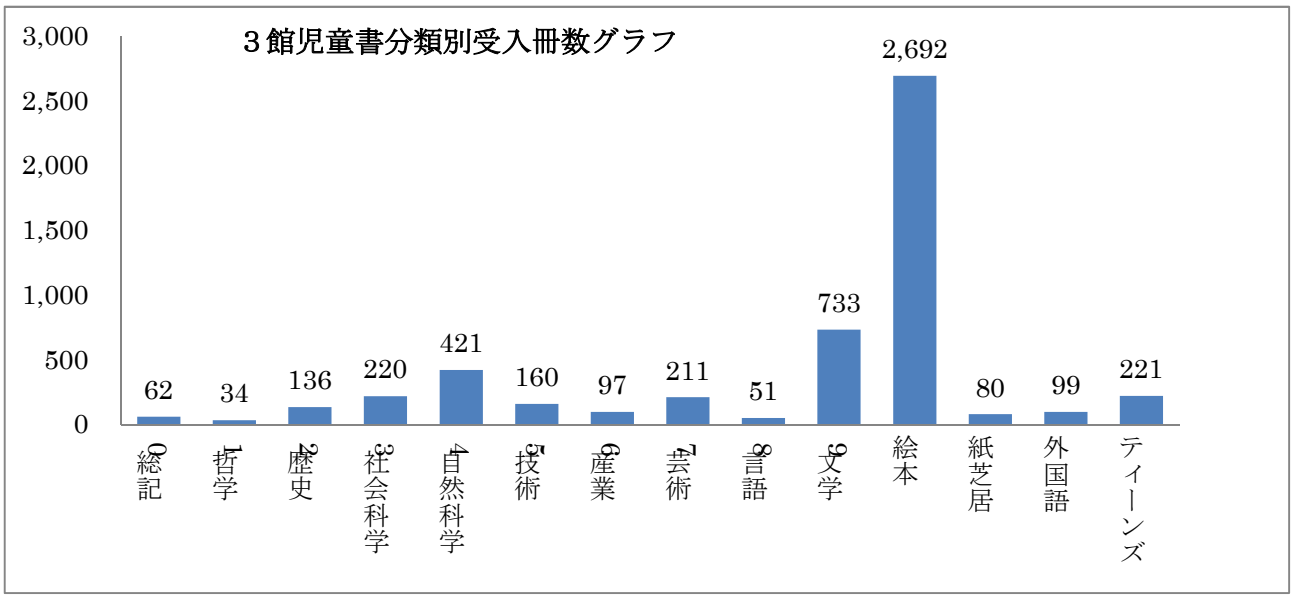
9文学	絵本	紙芝居	外国語	ティーンズ	計
12,164	24,027	1,945	1,112	8,205	57,999
20.97%	41.43%	3.35%	1.92%	14.15%	100.00%

⑧３館合計　児童書

ア 分類別受入冊数　　（上段：受入冊数　下段：割合）

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
62	34	136	220	421	160	97	211	51
1.19%	0.65%	2.61%	4.22%	8.07%	3.07%	1.86%	4.04%	0.98%

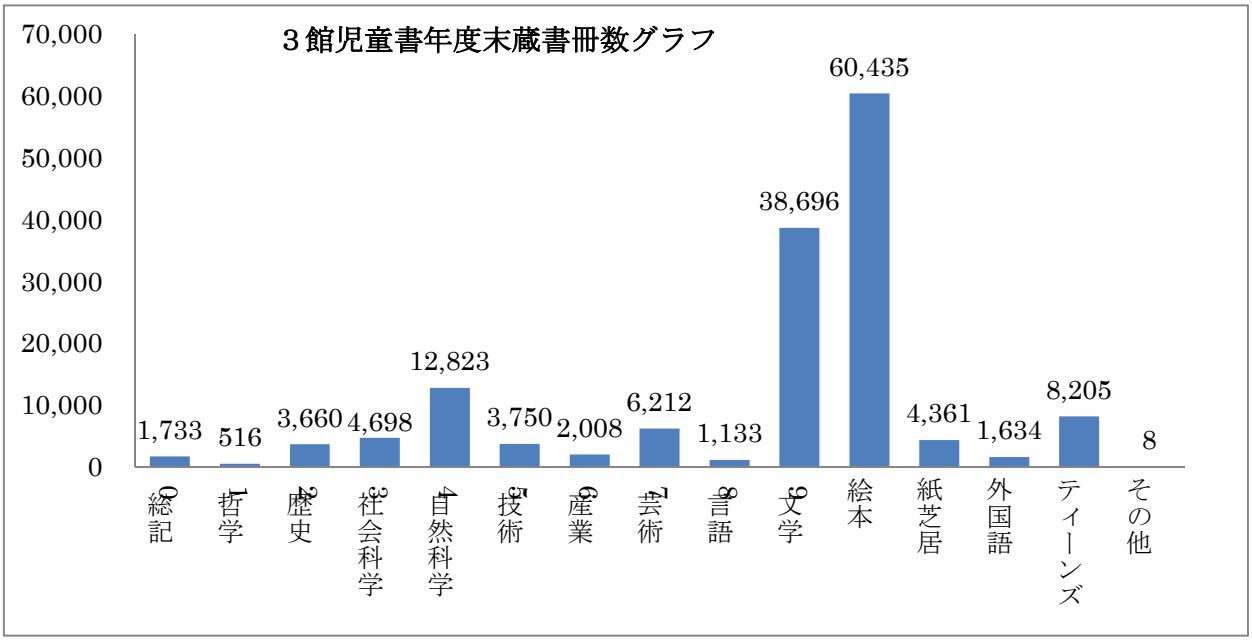
9文学	絵本	紙芝居	外国語	ティーンズ	計
733	2,692	80	99	221	5,217
14.05%	51.60%	1.53%	1.90%	4.24%	100.00%



イ 年度末蔵書数　　（上段：受入冊数　下段：割合）

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
1,733	516	3,660	4,698	12,823	3,750	2,008	6,212	1,133
1.16%	0.34%	2.44%	3.13%	8.56%	2.50%	1.34%	4.14%	0.76%

9文学	絵本	紙芝居	外国語	ティーンズ	その他	計
38,696	60,435	4,361	1,634	8,205	8	149,872
25.82%	40.32%	2.91%	1.09%	5.47%	0.01%	100.00%



(3)平成24年度中の蔵書増加冊数と年度末蔵書数

館名	羽場	丸山	東野	座光寺	松尾	下久堅	上久堅	千代 (内千栄)	龍江	竜丘
受入冊数	449	452	559	394	667	482	404	538	392	731
うち子どもの本	182	177	192	138	291	287	213	261	219	253
除籍冊数	444	104	172	250	317	0	119	195	0	139
うち子どもの本	155	1	12	50	15	0	6	7	0	2
保管換等による増減	△ 100	18	32	△ 30	△ 23	6	1	△ 4	32	20
蔵書冊数	10,322	10,981	10,630	8,484	17,835	10,508	8,938	12401 (2,530)	10,116	16,533
うち子どもの本	5,964	6,445	6,545	4,836	11,243	7,015	5,699	8151 (1,957)	7,132	9,486

館名	川路	三穂	山本	伊賀良	上村	南信濃	鼎	上郷	中央	合計
受入冊数	517	436	503	867	316	609	3,616	6,449	16,736	35,117
うち子どもの本	260	203	228	366	179	269	911	2,165	2,141	8,935
除籍冊数	126	65	1	235	0	5	2,194	2,518	6,969	13,853
うち子どもの本	8	6	0	62	0	2	586	88	1,415	2,415
保管換等による増減	0	27	29	159	2	122	△ 219	△ 5	116	183
蔵書冊数	10,505	10,143	11,679	22,571	5,715	7,389	56,959	165,642	333,272	740,623
うち子どもの本	7,082	6,604	7,565	13,139	3,268	3,867	22,682	57,999	69,191	263,913

(4)平成 24年度リクエスト購入図書冊数

受入館	中央	鼎	上郷	分館合計	合計
リクエスト購入冊数 (割合)	1,836 (19.9%)	291 (12.0%)	454 (10.4%)	778 (12.9%)	3,359 (15.2%)
購入図書冊数	9,231	2,429	4,374	6,031	22,065

(5)平成 24 年度 受入新聞と雑誌等逐次刊行物

	中央	鼎	上郷
新聞継続受入数	23 紙	7紙	10 紙
雑誌継続受入数	207 誌	64 誌	80 誌

平成 24 年度 新規受入雑誌

中央 「税経通信」(税務・会計)、「TURNS」(地域生活)、「日経グローカル」(地域経済)、「新建築」(建築デザイン)、「地域政策学ジャーナル」(地域問題)、「旅行読売」(旅行)、「和楽」(生活)

鼎 「日経ビジネスアソシエ」(ビジネス情報)、「歴史人」(歴史)、「ちいさい・おおきい・つよい・よわい」(育児)

上郷 「東海じゃらん」(旅行)、「MONOQLO」(生活)、「バイシクル・ナビ」(自転車)

(6)平成 24年度 郷土資料の製本数

複製版製本	11 冊
修理製本	27 冊

(7)平成 24度 郷土資料保存事業 総事業費 3,537,639 円

①郷土新聞のデジタル化・マイクロフィルム化

新 聞 名	デジタル化 (頁)	マイクロ化 (コマ)	備 考
南信州新聞 平成 23 年 1 月～12 月	3,144	3,144	マイクロ6巻・単語検索可
信州日報 平成 23 年 1 月～12 月	2,478	2,478	マイクロ6巻・単語検索可
南信新聞 昭和 5 年～昭和 14 年 7 月	11,988	―	マイクロからデジタル化
第一線新聞 大正 12 年・13 年	50	―	マイクロからデジタル化
飯田ニュース	1,091	―	マイクロからデジタル化
南信時事 昭和 22 年～昭和 29 年 9 月	4,295	―	マイクロからデジタル化
南信タイムズ昭和 29 年 7 月～30 年 11月	800	―	マイクロからデジタル化

飯田の新聞　昭和 23 年 6 月～29 年 10 月	3,576	―	マイクロからデジタル化
下伊那青年　他	511	48	マイクロからデジタル化
合　計	27,933	5,670	

②郷土雑誌等のデジタル化

資料名	タイトル数	デジタル化(頁)
「下伊那教育」「組合製糸研究」 など	17 誌	7,619
飯田市街図(昭和 27 年) など	9 枚	13

(8)平成 24 年度外国語図書受入数と年度末蔵書冊数

		英語	中国語	韓国語	ドイツ語	フランス語	ポルトガル語 スペイン語	その他	合計
24 年度 受入数	中央	15	53	2	0	0	10	5	85
	鼎	0	0	0	0	0	0	0	0
	上郷	34	0	0	1	2	1	8	46
	合計	49	53	2	1	2	11	13	131
24 年度 末蔵書 冊数	中央	1,137	996	74	8	3	269	33	2,520
	鼎	9	0	0	0	0	2	0	11
	上郷	1,004	9	9	46	17	26	88	1,199
	合計	2,150	1,005	83	54	20	297	121	3,730

その他…イタリア語・ロシア語・タガログ語

(9)平成 24 年度視聴覚資料受入数と年度末数

		紙芝居	ビデオ	DVD	マイクロ フィルム	CD	カセット
24 年度 受入数	中央	37	0	13	15	15	27
	鼎	7	0	4	0	5	0
	上郷	36	0	6	0	34	4
	合計	80	0	23	15	54	31
24 年度 末数	中央	1,697	183	168	893	158	50
	鼎	719	1	47	0	9	4
	上郷	1,945	8	42	0	387	1,003
	合計	4,361	192	257	893	554	1,057

(10) 寄贈資料

平成 24 年度　寄贈資料数

館	中央	鼎	上郷	分館	合計
冊数	3,865	286	792	824	5,767

主な寄贈資料

① 岩嶋三富氏　寄贈資料

千代出身、さいたま市在住の岩嶋三富氏から、蔵書寄贈申出があり、「五来重著作集」「小林太市郎著作集」など当館未所蔵で資料価値の高い民俗、宗教、美術、郷土関係書籍 501 冊が寄贈され、データ入力し利活用できるようにした。

② 上郷黒田文庫

黒田文庫は、上郷黒田地区で大正時代から昭和 30 年代にかけて活動していた地域文庫で、主な管理運営を下黒田青年会が担っていた。この蔵書が、その後も下黒田北集会所で保管されていたが、下黒田北まちづくり委員会より上郷図書館へ寄贈の申出があり、図書館の保存資料として整理を行った。

出版された年代順に目録を作成した。全 686 冊のうち、明治時代 21 冊、大正時代 203 冊、昭和元年から 20 年までのものが 252 冊と、大半が戦前に出版されたものである。中には国立国会図書館にも所蔵がないものが複数あり、当時の出版事情や地域文庫の活動を知るうえでも貴重な資料群である。

③ 長野県建築士事務所協会飯伊支部　寄贈資料

長野県建築士事務所協会飯伊支部では青少年健全育成のために役立てて欲しいと、毎年図書購入費 10 万円を寄贈くださり、本年で 13 回目を数えた。今年度は「原色ワイド図鑑全 21 巻」（学研）を購入した。

これまでの寄贈累計は 341 冊（130 万円）となった。

④ その他

庁舎改築に伴い、本庁文書法規課の書籍の一部を移管した。主に統計書で「長野県統計書」の当館未所蔵や「工業統計」等をデータ入力し、利活用できるようにした。

(11) 平成 24 年度　除籍本の　リユース

平成 24 年度還元冊数

館	中央	鼎	上郷	合計
冊数	9,766	1,383	1,875	13,024
提供日	毎週木曜日	毎週土曜日	毎月第4土曜日	

施策２　　資料及び情報提供の充実

(1)図書等の貸出

南信州図書館ネットワークは、平成 23 年７月の稼働から２年近くが経過し定着しつつある。24 年度4月からは業者委託による予約本の回送を開始した。飯田市・松川町・高森町間での蔵書の相互利用が進み、利便性が更に拡大している。また 10 月からは分館蔵書データをホームページ上に公開、利用者が自宅から検索できるようになった。

ネットワーク化と同時に書架にある資料の予約も可能となったため、インターネット予約の利用が飛躍的に伸びてきている。一方、図書館へ足を運び、書架にある本を選んで借りていくというような利用が減っており、利用者が増加しているにも関わらず貸出冊数は減少傾向で、今後の課題ともいえる。

①平成 24 年度　館別利用状況（17 ページ資料）

②平成 24 年度来館者数(中央図書館のみ) 175,796 （対 23 年度比 99.3%）

③登録者数

ア 平成 24 年度新規登録者数

	中央	鼎	上郷	合計
個人(子ども)	646	200	225	1,071
(大人)	2,223	172	440	2,835
団体	30	0	14	44
合計	2,899	372	679	3,950

イ 飯田市在住者登録者数･平成 24 年度内に利用した登録者数 （個人）

	中央	鼎	上郷	合計
登録者数(累計)	13,412	2,450	3,993	19,855
内飯田市在住者登録数	11,647	2,358	3,541	17,546(88.4%)
有効登録者数(平成24年度に利用した登録者数)	13,178	2,411	3,925	19,514(98.3%)

④南信州図書館ネットワーク内自治体間貸出･借受　　※23 年 7 月ネットワーク稼働

	飯田市			松川町			高森町		
	24 年度 24.4-25.3	23 年度 23.7-24.3	22 年度 22.4-23.3	24 年度 24.4-25.3	23 年度 23.7-24.3	22 年度 22.4-23.3	24 年度 24.4-25.3	23 年度 23.7-24.3	22 年度 22.4-23.3
貸出冊数	6,692 (37.0%)	4,145 (36%)	577 (90%)	7,859 (43.4%)	4,976 (43%)	40 (6%)	3,541 (19.6%)	2,549 (22%)	25 (4%)
借受冊数	9,939 (54.9%)	6,529 (56%)	46 (7%)	3,367 (18.6%)	2,021 (17%)	364 (57%)	4,786 (26.5%)	3,120 (27%)	232 (36%)

⑤相互貸借

	中央	鼎	上郷	計	H23	前年比
貸出冊数	652	20	82	754	970	77.7%
借受冊数	766	200	119	1,085	1,086	100%

※貸出減少は、県の横断検索システムに障害が生じ、飯田市所蔵資料が検出されない期間があったため

⑥予約数

		中央	鼎	上郷	分館	計	H23	前年比
予約総件数		26,155	10,212	9,014	4,463	49,844	45,208	118.5%
個人	WEB	9,420	4,362	3,570	—	17,352	12,162	142.7%
	OPAC	2,728	645	2,112	—	5,485	6,306	87.0%
	窓口ほか	10,813	4,425	3,188	—	18,426	18,126	101.6%
団体	窓口ほか	3,194	780	144	—	4,118	4,520	91.1%

⑦テーマ本の展示

	中央	鼎	上郷	計
資料展示件数	42	32	42	116

地名講座関連展示「下伊那の城郭と地名」

一年を通して「本草図譜」から
四季の花展示

歴史研究所「地域史研究集会」関連展示
「桑の実」

① 平成24年度　館別利用状況

（単位:人・冊）

		羽場	丸山	東野	座光寺	松尾	下久堅	上久堅	千代	龍江	竜丘	川路	三穂	山本	伊賀良	上村	南信濃	分館計	中央	鼎	上郷	合計
登録者（人）	こども	256	92	147	146	961	226	113	115	71	414	84	76	255	887	20	66	3,929	2,970	1,121	1,226	9,246
	大人	167	70	112	73	211	154	140	77	80	291	63	55	104	482	28	50	2,157	10,442	1,329	2,767	16,695
	団体	1	1	0	0	18	6	5	3	14	3	4	9	11	14	3	1	93	234	34	136	497
	計	424	163	259	219	1,190	386	258	195	165	708	151	140	370	1,383	51	117	6,179	13,646	2,484	4,129	26,438
利用者（人）	こども	2,979	721	1,466	1,490	3,752	2,346	779	1,197	655	3,854	1,289	2,407	1,596	6,769	63	451	31,814	17,668	9,411	9,377	68,270
	大人	2,158	980	1,289	1,019	1,802	1,832	649	790	982	3,316	978	915	1,059	3,918	218	356	22,261	82,677	19,212	25,019	149,169
	団体	2	1	0	0	98	40	17	22	164	29	15	50	143	123	9	5	718	2,788	830	1,035	5,371
	計	5,139	1,702	2,755	2,509	5,652	4,218	1,445	2,009	1,801	7,199	2,282	3,372	2,798	10,810	290	812	54,793	103,133	29,453	35,431	222,810
貸出冊数（冊）	こども	8,390	2,142	4,824	4,565	10,658	7,171	1,979	3,635	2,244	14,904	3,306	5,231	5,274	23,585	130	1,622	99,660	93,460	45,949	39,069	278,138
	大人	4,910	2,873	4,069	3,114	5,833	5,195	1,809	2,069	2,684	12,823	2,461	2,655	3,285	13,468	459	1,188	68,895	315,628	72,435	89,479	546,437
	団体	5	90	0	0	1,731	478	269	222	2,908	701	239	949	3,113	2,674	147	242	13,768	16,457	5,904	8,602	44,731
	計	13,305	5,105	8,893	7,679	18,222	12,844	4,057	5,926	7,836	28,428	6,006	8,835	11,672	39,727	736	3,052	182,323	425,545	124,288	137,150	869,306

(2)調査相談の充実

緊急雇用創出事業等の交付金で行ってきたデジタル化により、郷土新聞・郷土雑誌がパソコンで閲覧できるようになった。郷土に関する調査相談が相変わらず多く、郷土新聞は貴重な資料となっている。だれでも簡単に閲覧・検索ができるように新聞閲覧システムを構築したことにより、利便性が向上した。パスファインダーの更新や追加も少しずつ行い、更に調査相談が容易にできるような環境整備を進めている。また、所蔵資料だけでなく、専門機関や他館から資料の複写を取り寄せるなどして資料提供に努めている。

23・24 年度に緊急雇用創出事業として県の補助金を受け、美術博物館・柳田國男館・上郷考古資料館・歴史研究所が所蔵する図書の書誌情報と所在情報を図書館のコンピュータシステムに登録した。市民や研究者らが活用できるよう、25 年度に図書館ホームページで公開予定である。

①レファレンス(調査相談)サービス件数

	中央	鼎	上郷	合計	H23
レファレンス総件数	2,868	614	712	4,194	5,310
うち口頭	2,539	590	656	3,798	4,855
うち電話	290	24	56	370	420
うちメール・文書	39	0	0	26	35

②複写サービス

ア 館内資料

	中央	鼎	上郷	合計	H23
件数	2,504	162	437	3,103	2,899
枚数	19,822	452	2,394	22,668	21,423

イ 他館資料

	中央	鼎	上郷	合計
件数	41	0	5	46

③インターネットによる情報サービス

ア 図書館ホームページアクセス数　61,475 件

イ「よむとす～こんな本いかが～」の掲載

図書館職員による、図書館所蔵のおすすめ本の紹介をしている。

月 2 回の更新。ホームページでの紹介と合わせ地元新聞へも掲載し、情報発信を行っている。

ウ 分館蔵書データを図書館ホームページ上に公開

平成22・23 年度にデータ入力した分館の蔵書データを 10 月からホームページ上に公開。利用者が分館所蔵資料を直接検索できるようになった。

エ 平成 24 年度末 美術博物館・上郷考古博物館・柳田國男記念館・歴史研究所所蔵図書 登録冊数

美術博物館	柳田國男館	上郷考古博物館	歴史研究所
24,431 冊	4,411 冊	9,407 冊	12,783 冊

オ　日夏文庫の洋書データ公開

データ化されていなかった日夏文庫の洋書目録をデータ化し、ホームページ上に公開予定である。

カ　新聞閲覧システムの導入等

今年度までにデジタル化した郷土新聞を、より簡単に検索・閲覧ができる新聞閲覧システムを導入した。またデジタル化した郷土新聞及び郷土雑誌の一覧をホームページに公開し、利用促進を図る。

(3)生活およびビジネス支援の向上

暮らしと仕事に役立つ図書館として、実用書や専門分野(社会・経済・産業等)の資料充実を図っており、利用も増えてきている。平成 23 年度から、就労支援の一環としてキャリア教育の支援に取り組んでおり、「職業・資格・仕事の本」リストの更新や中学校への資料の貸出を行ってきた。

職場体験学習の受け入れ企業・団体等にアンケートを行い、企業の社史や会社案内の寄贈を受けた。地元企業等の資料をキャリア教育やレファレンスに活用できるよう収集・整理・保存する等、情報提供を中心にした事業の取り組みを行っている。

①中央図書館中二階テーマ展示　　5　回

・暮らしと仕事に役立つテーマで、本の展示を行っている。

②パスファインダー数　　児童　23 件　　郷土資料 35　件

③　「職業・資格・仕事の本」リストの更新と活用

・モデル校における本の活用や全中学校へのアンケート実施により、リストの活用方法の検討やリストの更新を行った。

・リストは市内各中学校に配布したほか、飯田市立図書館ホームページへ掲載。

・リストを参考にしてもらい、学校貸出を行った。

④地元企業等の資料収集と整理

・中学校の職場体験学習を受け入れている事業所や施設等の協力を得て、企業等に関する資料を収集した。キャリア教育やレファレンスに活用できるように整理中。

・社史の利用促進のため、ミニ社史資料展を行った。

・資料収集に合わせ、キャリア教育受け入れ企業へ図書館利用に関するアンケートを実施した。

回答数 108 件　　内容を検討し、今後のビジネス支援サービスの参考にしていく。

地元企業等から寄贈いただいたパンフレット

施策3　利用者に応じた「よむとす」の推進

(1)次世代育成のためのよむとす

様々なメディアの叛乱による弊害がとりざたされるなか、読書の裾野を広げようと様々な事業を行った。今年度は、他機関との連携によるイベントや読みきかせ、小学校の調べ学習支援、図書館だよりの配布等図書館内外で読書の普及に努めた。

また新しい試みとして、中央・鼎・上郷図書館で連携して行事を行い、単発で終わらせることなく長期に渡り来館していただくよう、スタンプラリーなどの取り組みを行った。

①はじめまして絵本事業

実施会場 ： 飯田市保健センター・松尾公民館・伊賀良公民館・鼎保健センター

内　　容 ： 7ヶ月児相談･･･絵本の紹介・絵本の話・絵本の読み聞かせ・わらべうた・絵本の配布

2歳児相談･････絵本の読み聞かせ・わらべうた・絵本の話

【7ヶ月児及び2歳児相談受診人数と受診率】

年　　度	7ヶ月児相談	2歳児相談
平成 24 年度	894 人(98.3%)	844 人(90.2%)

２歳児相談（鼎保健センター）

乳幼児への読みきかせ

②読みきかせサービス等

	内　　容	件数(回)	人数(人)
中央 鼎 上郷	お楽しみ会・おはなし会・行事等	155	1,916
	講座(こどもの本の会・えほんの会)	20	237
	幼・保育園　読みきかせ	131	4,021
	小学校・児童館　読みきかせ	38	1,314
	高校での絵本講座(下農・女子高・阿智)	4	211
	美博まつり	1	60
	育児サークル・乳幼児学級等	20	416
3館	小計	377	8,465
分館	行事等	410	14,538
	合　　計	1,156	31,178

美博との連携による夏休み特別企画
「恐竜の謎にせまる」(中央)

おもしろ科学工房との連携による
「サイエンスマジックショー」(上郷)

「牛乳パックでお獅子を作ろう」(鼎)

「カルタ会」　(中央)

女子高での絵本講座（上郷）

親子向け講座「えほんの会」（上郷）

いろんなジャンルに関心を

飯田市立図書館 小学生向けに本の福袋

飯田市立図書館は5日から、小学生を対象に職員お薦めの本などを詰めた「新春おたのしみ本の福袋」を中央、鼎、上郷の3館で開催している。各館なくなり次第終了で「残り少ないのでお早めに」と呼び掛けている。

本の福袋は県内外の他の図書館で実施されており、「おもしろそう」と市立図書館でも初めて行うことに。読み物の本と、各館の職員が選んだお薦めの本の計2冊を中身がわからないよう包装し、小学校低学年向けに50袋、中学年に40袋、高学年に20袋を用意。約30袋に1つの確立で、雑誌の付録などを入れた。

本の福袋を選ぶ子どもたち（中央図書館で）

追手町の中央図書館では初日の5日、子どもたちや保護者が徐々にコーナーに立ち寄っていた。たくさん積まれた福袋を前に「何が入ってるかな」と迷いながらも包みを手にとり、カウンターに向かった。

職員のお薦めの本を用意して、さまざまなジャンルに関心を持ってもらおうと、福袋には絵本や図鑑、物語など、さまざまな種類の本を詰めた。同館では「普段自分が読んでいるジャンルのもの以外に興味を持ってもらう良い機会。福袋を手にしてもらうことで、いろんな本を読んでもらえれば」としていた。

問い合わせは中央図書館（電話㉒0706）へ。

新春おたのしみ本の福袋（中央・鼎・上郷）　南信州新聞（H25.1.8）より

③読みきかせボランティアの育成

・平成23年度に実施した養成講座の修了生から「はじめの一歩」という読みきかせグループが誕生した。月1回の研修会を継続しながら、ボランティア活動を開始した。

・読みきかせボランティアの会では、年数回のグループ代表者会と年1回の研修会を通じ、グループ間の交流や会員の育成を行っている。 24 年度は下沢元上郷図書館長を講師に、研修会を実施した。

④図書館体験プログラム

各種プログラムの体験を通じて、図書館や資料により親しんでもらい、読書を楽しみ、生涯にわたる図書館利用の基礎をつくることを目的に、図書館体験プログラムを推進した。

平成 24 年度　実績数　　（単位：人）

プログラム名	中　央		鼎		上　郷		合　計	
	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数
資料整理業務体験	10	32	4	9	6	29	20	70
利用サービス業務体験	11	32	4	9	6	27	21	68
図書館利用体験	19	653	59	1,377	19	672	97	2,702
障害者サービス体験	8	12	4	4	0	0	12	16
特殊資料ミニ講座	1	8	0	0	0	0	1	8
子どもの本ミニ講座	2	18	2	38	0	0	4	56
合　計	51	755	73	1,437	31	728	155	2,920

中学生の利用サービス業務体験

⑤文章講座

読むことを深めるために、書くことの勉強会として始まった文章講座は、昭和 57 年1月に第 1 期が開講して以来、年を重ねて平成 24 年度には第 30 期を迎えた。

第 1 期～15 期は小原謙一氏が、第 16 期～30 期は清水貫司氏が講師を務め、第 31 期からは鎌倉貞男氏を新たに講師に迎えて、平成 25 年 5 月に開講した。

歴代 文章講座 受講者および修了者数

期	年	講 師	会 場	受講者	修了者
1	昭和 57 年(1982)1 月～12 月	小原 謙一 先生	飯田図書館	118	75
2	昭和 58 年(1983) 〃	〃	〃	60	42
3	昭和 59 年(1984) 〃	〃	〃	50	33
4	昭和 60 年(1985) 〃	〃	〃	30	20
5	昭和 61 年(1986) 〃	〃	〃	36	32
6	昭和 62 年(1987) 〃	〃	〃	24	20
7	昭和 63 年(1988) 〃	〃	〃	35	35
8	平成元年(1989) 〃	〃	〃	45	30
9	平成 2 年(1990) 〃	〃	〃	26	22
10	平成 3 年(1991) 〃	〃	〃	25	20
11	平成 4 年(1992) 〃	〃	〃	38	33
12	平成 5 年(1993) 〃	〃	中央図書館(改称)	32	30
13	平成 6 年(1994) 〃	〃	〃	39	33
14	平成 7 年(1995) 〃	〃	〃	47	44
15	平成 8 年(1996) 〃	〃	〃	31	29
16	平成 9 年(1997)10 月～翌年 9 月	清水 貫司 先生	〃	19	13
17	平成 10 年(1998) 〃	〃	〃	15	7
18	平成 11 年(1999) 〃	〃	上郷図書館	22	20
19	平成 12 年(2000) 〃	〃	〃	13	7
20	平成 13 年(2001) 〃	〃	〃	15	14
21	平成 14 年(2002) 〃	〃	〃	21	16
22	平成 15 年(2003) 〃	〃	〃	24	10
23	平成 16 年(2004) 〃	〃	〃	22	14
24	平成 17 年(2005) 〃	〃	〃	22	13
25	平成 18 年(2006) 〃	〃	〃	16	8
26	平成 19 年(2007) 〃	〃	〃	27	11
27	平成 20 年(2008) 〃	〃	〃	14	9
28	平成 21 年(2009) 〃	〃	〃	27	17
29	平成 22 年(2010) 〃	〃	〃	23	10
30	平成 23 年(2011) 〃	〃	〃	29	19
	合 計			945	686

(2)分館サービスの推進

4月から分館巡回業務を業者委託した。中央館からの便が定期的に回るようになり、物流が滞りなく行われるようになった。中央館の職員は分館係員との相談、調整などに時間を取れるようになり、業務のサポートが今まで以上にできるようになった。併せて分館へ電話設置を開始し、利用者への予約連絡や督促、中央館等との連絡がスムーズになった。

9月より各分館へパソコンを配置、平成22・23年度にデータ入力した分館の資料情報を10月1日にホームページに公開したことで、資料の相互利用が進んだ。同時に分館からのインターネット予約も開始し、より迅速に予約処理ができるようになり、利用者の利便性が向上した。

各館ごとの事業では公民館や地区との共催事業、学校や幼・保育園との連携などを中心に、地域に密着した図書館活動を行った。

①中央館から分館への貸出冊数

	羽場	丸山	東野	座光寺	松尾	下久堅	上久堅	千代	龍江	竜丘	川路	三穂	山本	伊賀良	上村	南信濃	計
H20	468	59	148	216	237	515	212	141	367	216	77	182	168	610	28	435	4,079
H21	618	65	335	286	319	688	204	196	334	220	40	262	635	626	77	7	4,912
H22	394	37	245	364	362	727	254	293	359	237	81	333	1,161	602	117	36	5,602
H23	315	86	336	324	459	602	181	373	518	239	42	258	1,009	624	28	49	5,443
H24	407	104	269	408	455	535	186	201	784	451	129	306	664	683	69	42	5,693
うちWEB予約	191	70	62	189	98	235	98	16	166	97	76	65	154	134	4	6	1661

＊WEB予約数はH24.10～H25.3の予約の数

②各館ごとの事業

＊〔共〕は公民館・地区との共催行事で読みきかせ等をしたもの
＊係会の回数には図書整理、店頭購入等を含みます。

分館名	お楽しみ会、行事など						係会等	その他
	回数	日付	内容		人数	計	回数	
羽場	27	4/21	こども読書の日	読み聞かせ、紙芝居	4	658	7	子ども3人、大人1人
		5/8	0～1歳児学級〔共〕	読み聞かせ、図書館案内	41			子ども18人、大人23人
		5/9	3歳児学級〔共〕	読み聞かせ、手遊び	16			子ども6人、大人10人
		5/16	2歳児学級〔共〕	読み聞かせ、手遊び	17			子ども6人、大人11人
		6/2～6/30	図書館クイズ(計9回)	クイズの解答用紙を出して、本を借りてくれた人に景品を出す	110			
		7/25～8/8	いいもの作ろう(計5回)	ストローロケット	55			子ども46人、大人9人
		8/4	人形劇フェスタ〔共〕	前座として読みきかせ、ブックトーク	120			
		11/3、4	文化祭〔共〕	古本市、公民館内文字さがしイベント参加	110			
		12/1	クリスマス会〔共〕	ジャンボ絵本、飯田工業高校テックレンジャーショー	150			子ども130人、大人20人
		1/26～2/9	いいもの作ろう(計5回)	ジャンボこま	35			子ども30人、大人5人
		5/15	乳幼児学級〔共〕	発足会、分館の説明・勧誘・見学、読みきかせ	43			

分館名	お楽しみ会、行事など					係会等	その他
	回数	日付	内容	人数	計	回数	
丸山	13	5/19	子ども読書の日	読みきかせ、紙芝居、工作(ゴムでっぽう)	14	544	7	子ども9人、大人5人
		7/7	七夕お楽しみ会〔共〕	読み聞かせ、紙芝居、七夕飾り	42			子ども22人、大人20人
		11/10	文化祭〔共〕	読み聞かせ、紙芝居、工作(まつぼっくりツリー)	35			
		1/19	新春カルタ会	いろいろなカルタ	10			
		年8回	丸山保育園〔共〕	絵本の会読みきかせ	400			50人×8回
東野	7	5/12	子ども読書の日	読みきかせ、工作(ミニコプター)	20	147	6	
		5/23	3歳児学級〔共〕	開講式、本の案内、手遊び、読みきかせ	20			本の貸出:年14回
		7/7	たなばた会	読みきかせ、飾りつくり	35			
		10/5	動物のお話	動物園勤務の伊藤さんのお話、読み聞かせ	12			
		11月	文化祭〔共〕	古本の配布				
		12/15	クリスマス会	あんさん人形劇、紙芝居、清水先生コンサート	60			
		1/26	かるた会	カルタ、ジャンボカルタ	13			
座光寺	8	4/21	お楽しみ会	おはなし会	8	75	3	
		4/25	お楽しみ会	おはなし会	5			
		7/7	お楽しみ会	絵本読み、パネルシアター、工作(新聞紙のエコバック)、冷たいおやつ	30			
		12/8	お楽しみ会	絵本読み、工作(毛糸のミニクリスマスツリー)	32			
		2/2,3	文化祭〔共〕	古本市				2日40人、3日60人
		年2回	乳幼児学級〔共〕		53			
松尾	58	5/12	子ども読書の日	読みきかせ	22	2,650	8	
		7/2～13	松尾小学校〔共〕	分館利用体験学習	820			
		7/7	七夕お楽しみ会	工作、読みきかせ、紙芝居、森田和美さんの笛の演奏	75			
		12/8	クリスマスお楽しみ会	読みきかせ、紙芝居、ペープサート、工作	55			
		2/2,3	文化祭〔共〕	古本市				2日間とも100人以上
		5月～3月	乳幼児学級〔共〕	どんぐりクラブ(計9回)	23			
		5月～3月	乳幼児学級〔共〕	いちごクラブ(計9回)	62			
		11月～3月	慈光松尾保育園〔共〕	本の貸し出し(計38回)	1,377			57名×13回
		11月～3月	松尾東保育園〔共〕	年長組　読みきかせ、本の貸し出し(計9回)	216			24名×9回
下久堅	21	4/21	子ども読書の日	読み聞かせ(2冊は6年生に読んでもらった)	10	271	5	子ども8人、大人2人
		7/21	お楽しみ会	工作(ミニコプター)	15			子ども11人、大人4人
		12/15	クリスマスお楽しみ会		48			子ども27人、大人21人
		2/23	お楽しみ会	カレーを作って食べよう	59			子ども38人、大人21人
		月1回	放課後子ども教室〔共〕	紙芝居、読みきかせ	130			毎回10～15人位
		5･7･10･11･2月	乳幼児学級〔共〕	乳幼児学級に合わせて開館	9			子ども7人、大人2人
上久堅	34	4/25	子ども読書の日	読み聞かせ	12	1,046	14	
		5/9	未就園児〔共〕	利用説明会	16			
		5/16	保育園	読み聞かせの会(お楽しみ会形式)	26			
		5/23	小学校	読み聞かせの会(低学年・高学年各1時間)	46			
		8/5	夏のお楽しみ会〔共〕	人形劇観劇バスツアー	22			
		11/24,25	文化展〔共〕	古本市				40人位
		12/5	小学校	読み聞かせの会(低学年・高学年各1時間)	46			
		12/15	クリスマス会	読み聞かせ、ゲーム、茶話会	40			
		3/13	保育園	読み聞かせの会	26			
		毎月	保育園	読み聞かせの会、貸し出し	260			26人×10回
		4～3月	小学校	朝読書の会読み聞かせ	552			46人×12回
		4/25	(栄)お話会	読み聞かせ	18			
		5/9	お話会	読み聞かせ	25			

分館名	お楽しみ会、行事など						係会等	その他
	回数	日付	内容		人数	計	回数	
千代	29	6/2	お楽しみ会	ジャンボ読みきかせ、工作(紙コップけん玉)、おやつ	27	223	4	
		6/6	(栄)お楽しみ会	読み聞かせ、手遊び、折り紙、手作りおやつ	18			
		8/3	人形劇フェスタ〔共〕	人形劇・プラネタリウム鑑賞	16			
		5・9月	乳幼児学級〔共〕	ジャンボ絵本読み聞かせ	28			
		11/18	文化祭〔共〕	廃棄本配布				
		12/1	クリスマス会	歌、工作(ストローロケット)、読み聞かせ、ケーキ会食	46			
		12/15	(栄)クリスマス会	工作(リース)、ケーキ会食	25			
		1・2月	保育園〔共〕	年長組来館	20			
		年13回	乳幼児学級〔共〕	乳幼児学級合わせて開館				13回
		年4回	千代保育園〔共〕	くまさんのうちへ集団貸し出し				4回
龍江	9	4/28	子ども読書の日	お話の会	5	311	11	
		6/27	お話の会	下沢先生	67			
		7/7	お楽しみ会	作るお楽しみ会	19			
		8/2	人形劇フェスタ〔共〕	バスツアー	24			
		9/26	お話の会	上郷図書館関口さん	71			
		11/3	文化祭〔共〕	お話の会	14			
		12/8	クリスマス会		47			
		2/2	カルタ会〔共〕		44			
		3/9	春のお楽しみ会		20			育成会、公民館共催
竜丘		4/21,25	子ども読書の日	お話し会	36	941	13	
		5/24	図書館見学〔共〕	小学校1年生図書館見学、お話し会	63			
		7/21	七夕まつり	読み聞かせ、紙芝居、パネルシアター、工作(七夕かざり)	31			
		11/11、12	文化祭〔共〕	お楽しみ会、人形劇、読み聞かせ、手遊び、エプロンシアター、折り紙、工作(水引)	224			
		12/15	クリスマス会	人形劇、読み聞かせ、工作(クリスマスセット)	52			
		2/2	カルタ会		23			
		第2水	竜丘保育園来館〔共〕	貸出、読み聞かせ(5～12月)	512			64人×8回
川路	24	5/12,16	おはなし会		25	161	4	子ども20人、大人5人
		7/21	お楽しみ会	折り紙遊び	28			
		8/3	人形劇フェスタ〔共〕	人形劇観劇ツアー	17			
		10/21	文化祭〔共〕	古本市				
		12/22	クリスマス会	読み聞かせ、工作(万華鏡)	31			子ども25人、大人6人
		2/2	カルタ会〔共〕		22			子ども15人、大人7人
		5月～3月	乳幼児学級〔共〕	乳幼児学級のあと開館(計9回)				
		3/1～31	おたのしみクイズ月間	ポプラディアクイズ、絵本クイズ(計8回)	38			
三穂	60	4/18	お楽しみ会	図書館探検、おはなしの会	41	1,891	9	
		6/9	お楽しみ会〔共〕	巻きずし作り、読み聞かせ	30			育成会
		7/6	小学校	読み聞かせ	75			
		8/3	人形劇フェスタ〔共〕	人形劇観劇バスツアー	19			
		8/5	夏まつり〔共〕	スイーツデコ作り、読み聞かせ	55			育成会
		12/8	クリスマス会〔共〕	コンサート、読み聞かせ	79			育成会
		2/3	文化祭〔共〕	臨時開館、古本市				60人
		2/23	お楽しみ会	工作(にじいろしゃくとりむし、ミニコプター)	13			
		毎週水	保育園	来館時に読み聞かせ	1,400			35人×40回
		年5回	いきいきリハビリ〔共〕	お話の会	40			
		年7回	乳幼児学級〔共〕	読み聞かせ、クリスマス会	139			

分館名	お楽しみ会、行事など					係会等	その他
	回数	日付	内容	人数	計	回数	
山本	37	5/19	子ども読書の日	“とぶ”読み聞かせ、ミニコプター作り	19	3,689	6	
		10/3	オープンスクール〔共〕	パネルシアターを作って演じる	16			
		11/18	文化祭〔共〕	バルーンアート	70			
		12/8	クリスマス会	人形劇(山本小シェイシェイ まるりん)	110			子ども90人、大人20人
		年88回	山本小学校	出張読み聞かせ	2,400			団体貸出759冊
		年32回	山本保育園	出張読み聞かせ	464			団体貸出770冊
		年11回	さくら保育園	出張読み聞かせ	190			団体貸出840冊
		年12回	久米保育園	出張読み聞かせ	120			団体貸出240冊
		年19回	トトロ(未就園児)〔共〕	出張読み聞かせ	300位			1回6～12組
伊賀良	32	4/18、21、25	子ども読書の日	読み聞かせ、手遊び(19回実施)	232	1,138	6	子ども174人、大人58人
		6/21	三歳児学級〔共〕	読み聞かせ他	67			子ども30人、大人37人
		7/4	お楽しみ会	読み聞かせ他(5回実施)	171			子ども122人、大人49人
		10/20	お楽しみ会	読み聞かせ、工作(ストロー工作)他	43			子ども37人、大人6人
		11/8	二歳児学級〔共〕	読み聞かせ他	40			子ども17人、大人23人
		11/17,18	文化祭〔共〕	読み聞かせ、手づくりカード作り、スタンプラリー他	311			子ども261人、大人50人
		2/13	お楽しみ会	読み聞かせ、ジャンボ紙芝居他(保育園、小学校などで5回実施)	206			子ども172人、大人34人
		9・2月	一歳児学級〔共〕	読み聞かせ、手遊び、わらべうた他	68			子ども11人、大人15人
上村	29	4/25	子ども読書の日	おはなしの会	18	207		
		6/16	お楽しみ会	パクパクカエル工作、ホットケーキ作り、読み聞かせ	19			
		8/2	人形劇フェスタ〔共〕	バスツアー	20			
		8/8	サマーキャンプ〔共〕	公民館15地区	11			小学生10人、中学生1人
		10/20	お楽しみ会	読み聞かせ、カレー作り	14			
		11/28	お楽しみ会	矢澤さんによる読みきかせ	12			
		1/12	お楽しみ会	読み聞かせ、トランプ、百人一首、カルタ、お雑煮	16			
		3/2	お楽しみ会	読み聞かせ、紙芝居	16			
		年10回	小学校	読み聞かせ	30			
		年11回	保育園〔共〕	読み聞かせ	55			
南信濃	22	4/12	お楽しみ会	矢澤さんによる読み聞かせ	12	586	8	
		4/28	お楽しみ会	民話を聞こう	30			
		5/20	お楽しみ会	読み聞かせ	6			
		5/25	お楽しみ会〔共〕	マスコット作り	12			
		5/31	お楽しみ会	矢澤さんによる読み聞かせ	10			
		8/2	人形劇フェスタ〔共〕	フェスタ見学	30			
		10/2	お楽しみ会〔共〕	デコスイーツ作り、すこやか学級読み聞かせ	親子3組			
		10/13	お楽しみ会〔共〕	マスコット作り	8			
		11/12	お楽しみ会	保育園へ読み聞かせ(年長)	15			
		12/15	お楽しみ会〔共〕	クリスマス会	40			
		1/26	お楽しみ会	すごろく作り、おしるこ会	8			
		2/9	お楽しみ会〔共〕	バレンタインチョコ作り	15			
		年10回	保育園	読み聞かせ	400			40人×10回

お楽しみ会 回数 410 回
お楽しみ会 人数 14,538 人

(3)障がい者・高齢者サービスの充実

カセットテープ、デイジー図書(CD)をボランティアの協力により製作し、 視覚障がい者、高齢者等読書が難しい利用者に提供している。上田点字図書館を通じ、全国の利用者・図書館へも提供している。利用者の高齢化やダウンロードでの利用が増え、自館の貸出冊数が減少傾向にあるが、利用拡大のため施設向けに利用案内を配布した。

また、高齢者向け講座など、高齢者への読書普及を行った。

①録音図書貸出タイトル数

	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
中央	3,715	3,128	3,160	3,117	2,058
鼎	446	507	647	745	659

②録音図書相互貸借件数(借受)

	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
中央	314	276	434	317	143

③点字図書相互貸借件数

	鼎
件数	123

④高齢者向け図書館講座

	中央	上郷	鼎
回数(参加者数)	1 回(15 人)	2 回(40 人)	2 回(22 人)

※中央図書館・鼎は保健課連携のいきいき教室、上郷は「ゆうゆう」等への訪問

録音図書製作ボランティア研修会(声の輪)

利用者との交流会(鼎声のボランティア)

⑤障がい者用資料製作状況

(ア) 録音図書製作数

	CD タイトル数	テープタイトル数	テープ本数
中央	104	24	197

(※1 製作 104 購入 10 他館製作 22 ※2 製作 22 他館製作2)

(イ) 録音雑誌・新聞等製作数

	タイトル数	CD 枚数	テープ本数
中央	8	168	216
鼎	62	5	49

(ウ) 平成 24 年度末録音図書蔵書数

	CD タイトル数	テープタイトル数	テープ本数
中央	788	2,847	24,715

(エ) 平成 24 年度大活字本受入数と年度末蔵書冊数数

	中央	鼎	上郷
受入数	59	0	13
蔵書冊数	771	139	959

(4)多文化サービスの推進

英語・中国語の資料が多く利用されている。特に英語の児童書の利用が増えている。中国語資料は日常的に外国籍市民の利用があり、学校への団体貸出も行った。

①外国語図書貸出冊数

	英語	中国語	韓国語	ドイツ語	フランス語	ポルトガル語 スペイン語	その他	合計
中央	651	387	36	5	0	20	2	1,101
鼎	12	2	0	0	0	0	0	14
上郷	205	0	0	0	0	0	0	205
合計	868	389	36	5	0	20	2	1,320

②利用案内の配布

りんご庁舎に設置したほか、飯田国際交流の夕べ(12 月 16 日)で配布した。

(5)市民との協働

図書館の関係団体や市民との協働による、様々な講座や講演会等を行い、読書活動の推進をした。特に文章講座同窓会は、30 周年を迎え記念講演を行った。図書館ボランティアの協力により、グリーンカーテン作りや書架整理など、図書館の環境整備に努めた。

① 図書館まつり(第12 回)

実施期間 ： 平成 24 年4月 29 日～11 月4日

実施会場 ： 中央図書館・鼎文化センター

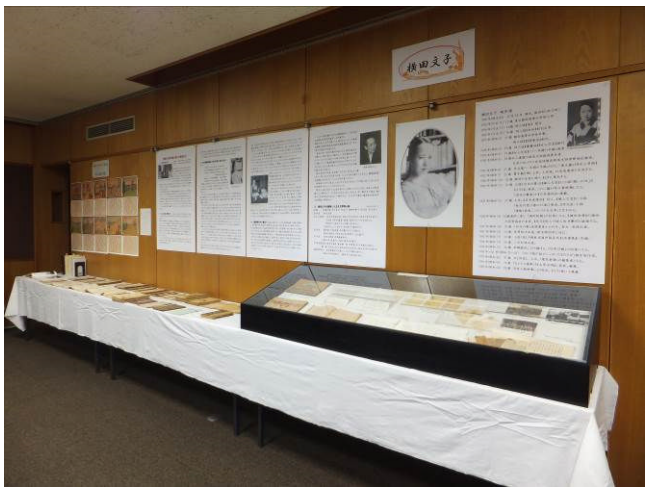
内容と実績 ：

実 施 項 目	開催日時	内　　容	当日入場者
文学連続講座 全5回 会場:中央図書館研修室		古典、近代、現代そして同時代の文学も、さまざまな先生に講演をしていただき、専門的に教えていただくことで、読書の幅が広がる。	
	第1回 4月 29 日(日) 13:30～15:30	**「健礼門院の生涯」** 講師: 吉澤貞人先生	62 人
	第2回 5月 27 日(日) 13:30～15:30	**「東日本大震災の哀しみの中で 生きる力となった賢治の言葉と作品 」** 講師: 中 繁彦先生	77 人
	第3回 6月 10 日(日) 13:30～15:30	**「『吾輩は猫である』～楽しんで書く漱石～」** 講師: 堀井正子先生	53 人
	第4回 7月 15 日(日) 13:30～15:30	**「半世紀『源氏物語』を読み続けてきて」** 講師: 藤松千年男先生	48 人
	第5回 9月7日(金) 13:30～15:30	**「イギリスの読書運動」** 講師: 山梨あや先生	45 人
野坂勇作講演会 **「絵本づくりは駅伝だ」** 会場:中央図書館研修室	7月8日 (日) 10:00～12:00	講師は、様々な画風で絵本を出しておられ「絵本界の魔術師」を異名を持つ。 講演会後には、講師による絵本づくりのワークショップが行われ、多くの親子連れが訪れた。絵本作家とふれあえる、貴重な時間となった。	52 人
映画会 **「なつかし名画トクトクまつり」** (優秀映画鑑賞推進事業) 『風の又三郎 ガラスのマント』 『次郎物語』 会場:鼎文化センター	9月2日(日) 13:00～16:40	山間の学校に不思議な転校生が風のように現れた！宮澤賢治作品中、名作の誉れ高い原作を映画化。(風の又三郎) 下村湖人の自伝的といわれる小説を、抒情的に描きだす。次郎が成長していく故郷の田園風景が美しく、親と子のふれあいを、いっそう掻き立てる。(次郎物語)	305 人
飯田下伊那読書会交流会 会場:中央図書館研修室	9月 16 日(日) 13:00～15:30	第6回となった今年度は、「文学の名作と音楽のコラボレーション」として、「平家物語」の琵琶語り、「雨ニモマケズ」の朗詠を聞いた後、読書会のテキストとしている6作品の一部を全員で群読した。	48 人
「辰濃和男講演会 事前勉強会(読書会)」 会場:中央図書館研修室	10 月6日(土) 13:30～15:00	講師に、清水貫司先生を迎え、辰濃和男著『文章のみがき方』をテキストとして読み合わせや意見交換などを行った。実行委員だけでなく、一般の方も多く参加され盛況であった。	50 人

特別資料展 **「郷土で花開いた女流文学」** 会場:中央図書館研修室	10 月 27 日(土) ～11 月4日(日)	「安東菊子」飯田藩士島地家の娘。多勢子や三輪田真佐子と親交した歌人。「松尾多勢子」山本竹村家の娘。松尾家に嫁し「勤皇の母」とも呼ばれた歌人。「横田文子」知久町出身、第3回芥川賞有力候補作家。 幕末から昭和まで、文学とともに生き抜いたこの3人の女流文学者に焦点をあて、展示を行った。 女流文学を語る会では、吉澤健先生、久保田幸枝先生を講師に迎え、3人の女性たちの文学についてより知る事ができた。 展示説明会は「古典の日」に合わせて行われた。	157 人
「郷土に花開いた **女流文学を語る会」** 会場:中央図書館研修室	10 月 28 日(日) 13:30～15:00		53 人
展示説明会 会場:中央図書館研修室	11月1日(木) 13:30～14:30		11 人
辰濃和男講演会 「良く読むことは よく書くこと」 会場:中央図書館研修室	10 月 27日(土) 13:30～15:00	講師は、13 年間朝日新聞・天声人語を執筆していた辰濃和男氏。読書の質量と文章力は比例するのかや、書くことについて大切なこととは何かなどを話された。 定員を超える入場で、大変盛況であった。	120 人
合　　計			1,028 人

辰濃和男講演会　10 月 27 日

文学連続講座　5 月 27 日



特別資料展　10 月 27 日～11 月 4 日

野坂勇作講演会　7月8日

②伊那谷地名講座 『下伊那の城郭と地名 ―地名が伝える城郭の歴史―』

「伊那谷地名コーナ」の充実と普及を目的に、伊那谷地名研究会と共催で「伊那谷地名講座」を中央図書館にて 3 回開催し、178 名が参加した。伊那谷の城郭地名の入門講座で、地名を学ぶことが郷土の歴史、自然、文化の学びへと広がり、ふるさと意識を次世代へ伝える支援とした。

	開催日	テーマ	講 師	参加者数
第1回	6 月 24 日(日)	吉岡城址	原 董	50 名
第2回	9 月 8 日(土)	神之峰城	岡田 正彦	63 名
第3回	12 月 8 日(土)	飯田城跡	山内 尚巳	65 名

③文章講座同窓会 30 周年記念講演会

『処女作が本になるまで 戦火に消えた名捕手吉原正喜に魅せられて』 講師 澤宮 優

文章講座ならびに文章講座同窓会の 30 周年を記念して、ノンフィクション作家澤宮優氏の講演会が 6 月 30 日(日)に中央図書館で行われた。テーマは、氏の処女作のモチーフとなった戦前の巨人軍捕手吉原正喜について、自身が作家としてデビューすることになった経緯も交えながら、文章を書く際に意識していることを語っていただいた。参加者は 75 名、長野県の地域発元気づくり支援金交付事業として文章講座同窓会主催で実施された。

④図書館ボランティア

(単位：人)

活動内容	中 央		鼎		上 郷		合 計	
	登録者数	述べ人数	登録者数	述べ人数	登録者数	述べ人数	登録者数	述べ人数
書架整理	1	17	1	47	1	6	3	70
古書整理	1	4					1	4
病院への配本	7	57					7	57
環境整備	1	100	3	28	1	3	5	131
イベント	3	3					3	3
学生ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ			30	60			30	60
合 計	13	181	34	135	2	9	49	325

文章講座同窓会 30 周年記念講演

鼎中生徒による草取り 鼎図書館

平成24年度　主な行事等

	中　央　図　書　館	鼎　図　書　館
4 月	婦人文庫「文学ふるさと探訪」(4/12) 声のボランティア養成講座(4/18～) 図書館まつり実行委員会(4/21) 平家物語を楽しむ会(4/28) 文学連続講座①(4/29)	子どもの読書週間特別おたのしみ会(4/28)
5 月	飯田下伊那図書館協会総会(5/10) 図書館探検ツアー(5/12) 手作り絵本巡回展(5/18～20) 文学連続講座②(5/27)	子どもの読書週間特別親子おたのしみ会(5/10) 鼎声のボランティア総会(5/12) 下伊那農業高校読み聞かせ講座(5/23) 鼎みつば保育園年長児来館(5月～2月)
6 月	追手町小学校読み聞かせ(6/5～7) 声の輪利用者交流会(6/8) 文学連続講座③(6/10) 婦人文庫総会「文集50号発刊記念」(6/17) 地名講座(6/24) 第1回図書館協議会(6/28) 文章講座同窓会講演会(6/30)	鼎小学級招待 3年生(6/8) パステルアート(6/9) 鼎声のボランティア利用者交流会(6/16)
7 月	婦人文庫豊橋読書会交流会(7/6) 子どもの本研究会野坂勇作講演会(7/8) 文学連続講座④(7/15) 清原健彦原画展(7/22～29)	絵本でビンゴ・読んでビンゴ(7月～9月)
8 月	人形劇フェスタ　ワークショップ(8/4～5) 美博まつり(8/11～12)ブース出展 恐竜講座(8/18) 文章講座・声の輪コラボレーション(8/26)	
9 月	図書館まつり映画会(9/2) 文学連続講座⑤(9/7) とくべつおたのしみ会(9/8) 地名講座(9/8) 読書会交流会・文学の名作を読む会(9/16) 第2回図書館協議会(9/25) こまねこ上映会(9/30)	鼎小学級招待 5年生(9/13・14・20・25)
10月	辰濃和男講演会事前勉強会(10/6) 防犯ポスター展(10/19～25) 第3回図書館協議会(10/23) 辰濃和男講演会(10/27) 特別資料展「郷土で花開いた女流文学」 (10/27～11/4)語る会(10/28)	
11月	特別資料展展示説明会(11/1) 第4回図書館協議会(11/21) 追手町小学校読み聞かせ(11/29～12/5)	鼎ふれあい文化祭展示(11/10・11)
12月	地名講座(12/8) 声の輪利用者交流会(12/14) 干支の折り紙教室(12/15) 第5回図書館協議会(12/25)	
1 月	新春おたのしみ福袋(1/5～10) 図書館カルタ大会(1/12)	新春おたのしみ福袋(1/5～2/3) 新年特別おたのしみ会(1/19)
2 月	蔵書点検臨時休館(2/12～2/15)	蔵書点検臨時休館(2/19)
3 月	第6回図書館協議会(3/5) 春休み特別おたのしみ会(3/23)	鼎小学級招待 1年生(3/7) 鼎声のボランティア総会(3/16) おはなしパスポート(3/16～)
定例行事	・おたのしみ会(毎週土曜) ・7カ月児相談での絵本の話 (本庁・伊賀良ﾌﾞﾛｯｸ) ・2歳児相談での絵本の話 (本庁・伊賀良ﾌﾞﾛｯｸ) ・育児サークル等お話し会(年12回) ・朗読奉仕養成講座(月3回) ・婦人文庫運営委員会・読書会各種(月1回) ・子どもの本研究会(月1回) ・図書館まつり実行委員会(年8回) ・コンピュータシステム定例会(4ヶ月1回) ・3市町間ネットワーク会議(2ヶ月に1回)	・おたのしみ会(毎週土曜) ・親子おたのしみ会(毎月第2木曜) ・7カ月相談での絵本の話(鼎ブロック) ・2歳児相談での絵本の話(鼎ブロック) ・鼎幼稚園(月2回)　・殿岡保育園(年6回) ・鼎東保育園(年11回) ・鼎幼稚園親子おはなし会(年2回) ・乳幼児学級、育児サークル等おはなし会 ・鼎小、地区内保育・幼稚園おたより発行(年3回) ・いきいき教室(年3回) ・鼎声のボランティア研修会(年5回) ・『としょかんの窓』(月1回発行)

上 郷 図 書 館	分　　館	職 員 研 修　等
読みきかせボランテイア代表者会(4/13) 小学校向け図書館だより発行	「子ども読書の日」関連事業各種 (4/21～5/19) 第1回分館長主事会(4/26)	公共図書館部会幹事会(4/19) 長野 1名
子ども読書の日とくべつおはなし会(5/9) 読みきかせボランティア代表者会(5/23) 中学・高校向け図書館だより発行		飯伊図書館協会研修会(5/10) 飯田 8名 県図書館職員初任者研修会 (5/11)　塩尻 1名
飯田女子高校絵本講座(6/8・12) 一般向け図書館だより発行		関東地区公共図書館協議会総会 ・研究発表会(6/21・22)　長野 4名
俳句教室(7/21) おりがみ教室(7/25) 読んでビンゴ(7/25～) 文章講座同窓会オープン講座(7/28) 小学校向け図書館だより発行	分館研修会(7/20)	全国公共図書館協議会総会・ 研究集会(7/6)　東京 1名
サイエンスマジックショー(9/9) 読みきかせボランティアの会研修会(9/28) 上郷小3年図書館利用指導(4回) 高校向け図書館だより発行	パソコン導入 分館サービス係パソコン研修会	生涯学習推進講座 (9/4) 塩尻 2名 児童担当視察研修(9/7) 三鷹 1名 障がい者ｻｰﾋﾞｽ担当視察研修 (9/21)　上田 2名
飯田女子高校絵本講座(10/9) 上郷小4年調べ学習指導(4回)	分館蔵書データ公開開始 (10/1～)	長野県図書館大会(10/20) 飯山 2名 家庭・幼児期養育講座(10/22) 塩尻 2名
一般向け図書館だより発行	第2回分館長主事会(11/20)	図書館ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ研修(11/12) 飯田 21名
ふゆのとくべつおたのしみ会(12/19) 小学生昔ばなしスタンプラリー(～2月) 小学校向け図書館だより発行		
新春おたのしみ福袋(1/5～13) 浜井場小読書旬間読みきかせ(3回)	分館研修会(1/31)	飯伊図書館協会研修会(1/7) 飯田 16名
蔵書点検臨時休館日(2/20～21) 浜井場小読書旬間読みきかせ(3回) 中学・高校・一般向け図書館だより発行		公共図書館部会幹事会2/22) 長野 1名
読みきかせボランティア代表者会(3/1) 乳幼児のためのおはなし会(3/28)		
・おはなし会(毎週水曜) ・こどもの本の会(年10回) ・えほんの会(年10回) ・7ヶ月相談での絵本の話(上郷・松尾ﾌﾞﾛｯｸ) ・2歳児相談での絵本の話 (上郷・松尾ﾌﾞﾛｯｸ) ・保育園おはなし会　座光寺(年4回) 上郷東(年6回)　上郷西(年4回) 上郷北(年5回)　上郷南(年4回) ・育児サークル等お話し会(年6回) ・文章講座(月1回) ・いきいき教室(年2回)	・各分館係会(随時) ・各分館おたのしみ会(随時) ・分館だよりの発行(随時) ・公民館との共催行事(随時) ・公民館地区文化祭参加 ・公民館乳幼児学級 ・保育園・小学校おはなし会 ・分館研修会(各分館ごと実施)	・児童サービス研修会(随時) ・レファレンス研修会(随時) ・図書館サービス研修会(随時) ・郷土資料研修会(随時)

資　料　編

「伊那谷地名講座」（伊那谷地名研究会との共催により実施）

1 沿 革

(1) 中央図書館

・明治 34 年　飯田小学校内に飯田文庫設立。
旧飯田藩主堀家の蔵書を購入。
・大正 4 年 11 月 10 日　公立図書館となる。(町立)
・昭和 6 年 7 月 1 日　飯田藩連隊区司令部の建物に移る。
・昭和 13 年　書庫新築。
・昭和 13 年 2 月 11 日　長野県知事より表彰される。(館の運営宜しきを得、遂年成績みるものあり云々)
・昭和 23 年 6 月　附設公民館増築。
・昭和 31 年 9 月 30 日　近隣７か村と合併し、当館が本館となり、旧７か村の地区に分館を置く。
・昭和 36 年 3 月 31 日　川路村合併。川路分館を加え８分館となる。
・昭和 38 年 4 月 1 日　飯田市中央公民館内に分室を設ける。
・昭和 39 年 3 月 31 日　龍江村・千代村・上久堅村合併・龍江・千代・上久堅を加え 11 分館となる。
・昭和 42 年 11 月 1 日　羽場地区に羽場分室を設ける。
・昭和 43 年 4 月 1 日　羽場分室を分館にし、中央・第一・第二公会堂の３か所で貸出をする。(12 分館となる)
・昭和 45 年 4 月 1 日　飯田市中央公民館内の分室を廃止する。
・昭和 46 年 4 月 1 日　丸山分室を分館にし、飯田農協・滝ノ沢集会所の２か所で貸出をする。(13 分館となる)
・昭和 48 年 6 月 1 日　丸山分館が飯田農協で貸出をしていたが、これを廃し丸山連合自治会集会所（丸山８区旧消防署分署跡）で貸出することになる。
・昭和 49 年 2 月 27 日　児童室・婦人文庫室・会議室（新館）竣工。
・昭和 53 年度　モデル分館事業として「児童向け土曜貸出」を、下久堅（５月)、松尾（７月)、龍江（１月）の３館が実施。
・昭和 54 年度　土曜貸出を羽場・千代・伊賀良分館が実施、計６館となる。
・昭和 54 年 4 月　羽場分館（公民館）完成。
・昭和 54 年 10 月 28 日　全面改築移転のため閉館となる。
・昭和 55 年 1 月 8 日　飯田文化会館で仮開館開始。
・昭和 55 年 1 月　飯田市公民館図書室で土曜貸出を始める。(橋南地域へのサービスのため)
・昭和 55 年 3 月 18 日　旧図書館を取り壊す。
・昭和 55 年 4 月　丸山分館（公民館）完成。
・昭和 56 年 3 月　飯田市公民館図書室での土曜貸出をやめる。
・昭和 56 年 5 月 15 日　市立飯田図書館改築完了。
・昭和 56 年 7 月 3 日　市立飯田図書館改築完了竣工式。
・昭和 56 年 7 月 5 日　市立飯田図書館新館開館。
・昭和 57 年度　座光寺・竜丘・川路・山本土曜貸出実施。
・昭和 59 年 4 月　千栄で土曜貸出実施。
・昭和 59 年 12 月 1 日　鼎町合併、飯田市立鼎図書館となる。
・昭和 60 年 4 月 1 日　東野分館（公民館）完成。
・昭和 60 年 6 月 1 日　東野分館開館、土曜貸出実施。
・平成 3 年 6 月 15 日　本館、ヤングアダルトコーナー開設。
・平成 5 年 7 月 1 日　上郷町合併、飯田市立上郷図書館となる。
合併により、市立飯田図書館を飯田市立中央図書館と改称。
・平成 8 年 4 月 1 日　分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
・平成 9 年 2 月 25 日　コンピュータシステム稼働による貸出はじまる。(NEC：LiCS-N)
・平成 10 年 3 月 31 日　「飯田市立中央図書館漢籍目録」刊行される。
・平成 12 年 8 月　「かこさとしの世界」展　開催される。
・平成 13 年 2 月　空調施設改修工事着工。同６月稼働（繰越明許事業）

・平成 15 年 6 月　　かこさとし作『だるまちゃん・りんごんちゃん』出版される。
・平成 16 年 7 月 22 日　コンピュータシステム更新、稼働。(NEC：LiCS-RⅢ)
図書館ホームページ開設、インターネット蔵書検索開始。
・平成 16 年 9 月　　インターネットによる予約受付開始。
・平成 17 年 10 月　　上村・南信濃村合併、上村分館・南信濃分館となる。
・平成 18 年 4 月 20 日　伊賀良学習交流センター竣工、同施設内に伊賀良分館を移転。
・平成 18 年 4 月 29 日　中央図書館で祝日開館を本格実施。
・平成 18 年 8 月 25 日　ビジネス支援開始。
・平成 19 年 1 月　　夜間開館試行。
・平成 19 年 3 月 10 日　市岡文書及び古書・飯田文書・村沢資料目録をＷｅｂ上公開。
・平成 19 年 5 月　　繰り下げ開館試行。
・平成 19 年 9 月　　毎週木曜日繰下げ開館 12:00～20:00 開館実施。
・平成 20 年 4 月　　毎週木曜日 10:00～20:00 開館実施。
・平成 23 年 3 月　　耐震改修工事竣工（休館 10 月 18 日～11 月末)。
・平成 23 年 12 月 27 日　図書館ネットワークに関する定住自立圏形成の追加協定を松川町・高森町と締結。
・平成 23 年 7 月 1 日　コンピュータシステム更新、稼働。(NEC：LiCS-Re)
南信州図書館ネットワークを松川町図書館・高森町立図書館と運用開始。
・平成 24 年 3 月　　16 分館の蔵書データ化を 22 年度と 23 年度 2 か年で実施。
・平成 24 年 9 月　　16 分館にインターネット用パソコン配置。
・平成 24 年 10 月　　16 分館の蔵書データをホームページで公開、同時に分館からのインターネット予約開始。

(2) 地域館

① 鼎図書館

・明治 43 年 12 月 7 日　開庫式を行い、青年会が管理、運営を行う。
・大正 12 年 7 月 26 日　県より私立図書館として認可される。
・昭和 25 年 7 月　　公民館図書部として運営される。
・昭和 35 年 1 月　　旧自治警察署跡へ移転して独立の図書館となる。
・昭和 38 年 4 月 1 日　司書１名を配置して昼間開館を行う。
・昭和 54 年 10 月 27 日　旧自治警察署跡へ図書館改築。
・昭和 59 年 12 月 1 日　飯田市と合併、飯田市立鼎分館となる。
・昭和 60 年 4 月 1 日　職員２名と土・日パート職員を配置して本館と同じ運営を行う。
・平成 5 年 7 月 1 日　上郷図書館と同列の飯田市立鼎図書館となる。
・平成 9 年 2 月 25 日　コンピュータシステム稼働による貸出はじまる。
・平成 11 年 12 月 21 日　共生のまち推進事業実施（障害者対応施設整備）

② 上郷図書館

・大正 11 年 4 月 1 日　上郷青年会は上郷文庫設置を決定。
・大正 12 年 10 月 10 日　上郷青年会は小学校の一室を借りて上郷文庫を開館。
・昭和 2 年 7 月 18 日　文庫を小学校より信用組合に移転。蔵書 675 冊。
・昭和 10 年 11 月 22 日　図書館経営と山林経営の協力が認められ、上郷青年会は文部大臣表彰を受ける。
・昭和 11 年 7 月 21 日　下黒田に独立図書館建設、開館式。
・昭和 15 年 2 月 11 日　優良図書館として県知事表彰。
・昭和 16 年 7 月 12 日　上郷青年会図書館を村立上郷図書館へ移管式。
・昭和 21 年 7 月 1 日　図書館の一部を改装、国保直営の上郷診療所を併設。
・昭和 25 年 9 月 1 日　診療所は高松病院（現ゆうゆう）の位置に移転。
・昭和 31 年 7 月 1 日　図書館へ専任職員を置く。

・昭和 37 年 1 月 6 日　全日開館を開始、土・日を除き午前 10 時から午後 5 時まで。専任職員を１名増員。
・昭和 39 年 11 月 1 日　上郷村民会館落成にて図書館移転、一階の３室を占める。旧図書館は公民館下南分館として払い下げる。
・昭和 42 年 4 月 1 日　専任図書館長を置く。夜間開館の係として青年会員の奉仕を受ける。
・昭和 58 年 10 月　是枝英子著『知恵の樹を育てる−信州上郷図書館物語−』出版される。
・昭和 60 年 4 月 28 日　現図書館開館式。5 月 2 日竣工式。総経費 2 億 7 千万円。（敷地費含む）
・平成 5 年 7 月 1 日　飯田市と合併。飯田市立上郷図書館となる。
・平成 9 年 2 月 25 日　コンピューターシステム稼働による貸出はじまる。

(3) 分 館

① 座光寺分館

・明治 36 年 4 月 23 日　青年団は文庫創立資金を村内より募り、文庫規則をつくる。
・明治 36 年 10 月 1 日　文庫を「座光寺文庫」と命名し小学校に設置。開庫式を開く。
・明治 37 年 10 月 10 日　「座光寺文庫」を「麻績文庫」と改名。
・大正 3 年　巡回文庫開設。
・大正 14 年　明治 27 年創立の「女子同窓会文庫」と合併する。
・昭和 8 年 11 月 4 日　「麻績文庫」規則を改正する。
・昭和 14 年 1 月 30 日　社会情勢に対処し、読書機関の重要性を認め、青年団に図書部を新設し、文庫を改革し、文庫の整理をする。
・昭和 14 年 3 月 11 日　国立図書館長・松本喜一氏視察する。
・昭和 14 年 3 月 19 日　県立図書館長・乙部泉三郎氏を招き文庫の経営及び製本法の指導を受ける。
「麻績文庫」を「座光寺図書館」と改名する。
・昭和 25 年　北部地区５か村（座光寺・上郷・市田・山吹・大島）にて図書館協会をつくる。
・昭和 31 年　青年団は図書館財産を村当局に寄付し、公民館図書部として運営する。
・昭和 31 年 9 月 30 日　１市７か村の合併により市立飯田図書館座光寺分館となる。
・昭和 57 年 4 月　土曜貸出を始める。
・昭和 60 年 4 月 1 日　公民館の新築に伴い同建物内に分館を併設し開館する。
・平成 8 年 4 月 1 日　分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

② 松尾分館

・大正 12 年 12 月　皇太子成婚記念事業として、従来の青年文庫・児童文庫を統一して村立図書館の設立を計画し、村費 300 円を計上する。
・大正 13 年 1 月 26 日　「村立松尾図書館」開館式を行う。書籍数は児童文庫 671 冊、普通文庫 575 冊。以来館長には村長、副館長には小学校長、事務員には小学校教員があたり、図書館は小学校の建物の中にあり、学校にて運営する。
・昭和 21 年　図書館を公民館付属建物に移し、青年会が運営する。
・昭和 23 年 4 月　図書館が公民館に所属し、公民館図書部にて運営する。
・昭和 31 年 9 月 30 日　1 市７か村の合併により、飯田市立図書館松尾分館となる。
・昭和 53 年 7 月　土曜貸出を始める。
・平成 2 年 4 月 14 日　公民館の新築に伴い同館内に分館を併設し毎週土曜日、水曜日、第 2・第 4 日曜日に開館する。
・平成 8 年 4 月 1 日　分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

③ 下久堅分館

・大正 13 年 4 月　下久堅巡回文庫として発足。
・昭和 4 年　当時の青年会が中心となって、小学校内に村立図書館を設立。
・昭和 12 年　村役場へ移転。
・昭和 16 年　小学校へ移転。
・昭和 23 年　下久堅公民館設立と同時に公民館図書部へ移管。
・昭和 31 年 9 月 30 日　1 市 7 か村の合併により、飯田市立図書館下久堅分館となる。
・昭和 44 年 2 月 20 日　新館落成。（公民館内に併設）開館。
・昭和 53 年 4 月 15 日　公民館の新築に伴い同建物内に分館を併設し開館する。
・昭和 53 年 5 月　土曜貸出を始める。
・平成 8 年 4 月 1 日　分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

④ 上久堅分館

・昭和 25 年 4 月 1 日　上久堅公民館が設置されると、図書部として発足する。青年団の文化部が管理する。
・昭和 32 年 4 月 1 日　公民館図書部が管理する。
・昭和 39 年 3 月 30 日　上久堅村は飯田市に合併し、飯田市立図書館上久堅分館となる。
・昭和 41 年 11 月　上久堅公民館の一室を図書館とする。
・昭和 56 年 4 月 1 日　公民館の新築に伴い同建物内に分館を併設し開館する。
・昭和 57 年 4 月　土曜貸出を始める。
・平成 元年 1 月　分館の部屋を改築し広める。
・平成 8 年 4 月 1 日　分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
・平成 15 年 5 月 7 日　健康相談室へ図書室を移転。

⑤ 千代分館

・明治 27 年　千代小学校職員及び青年会有志により、千代小学校内に「千代文庫」を創立。
・大正 2 年 1 月 30 日　「千代文庫」を千代青年会に管理委託。
・大正 12 年 4 月 1 日　御成婚記念として「村立図書館」を設立し、前者を移管。（独立施設としての図書館ではなかった）
・昭和 12 年 7 月 9 日　村出身、島岡亮太郎氏の寄贈により木造 2 階建 1 棟（4 間×6 間、階段便所つき）の独立図書館を建築。名称「村立千代図書館」として発足。後、館内に「二宮報徳文庫」「児童文庫」「忠勇文庫」を特設。
・昭和 14 年 2 月 11 日　県下優良図書館として県知事表彰を受ける。
・昭和 23 年 4 月 1 日　千代公民館が管理にあたる。
・昭和 39 年 3 月 30 日　千代村は飯田市に合併し、飯田市立図書館千代分館となる。
・昭和 52 年 6 月 19 日　小学校体育館建設のため取り壊し、小学校内の一部を仮分館とする。
・昭和 54 年 5 月　土曜貸出を始める。
・昭和 55 年 4 月　基幹集落センターの一室を図書館とし、開館する。
・昭和 59 年 4 月　千栄で土曜貸出を実施する。
・平成 8 年 4 月 1 日　分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

⑥ 龍江分館

・昭和 23 年　龍江公民館が設置されると図書部として発足する。図書室を村役場内に置く。
・昭和 39 年 3 月 30 日　龍江村は飯田市に合併し、飯田市立図書館龍江分館となる。
・昭和 39 年 7 月　龍江支所事務室を半分に仕切り、その半分を図書室とする。
・昭和 54 年 1 月　土曜貸出を始める。
・昭和 54 年　職場団体貸出文庫を始める。

・昭和 59 年 3 月 12 日　公民館の新築にともない同建物内に分館を併設し開館する。
・平成 8 年 4 月 1 日　分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

⑦ 竜丘分館

・大正 9 年 9 月　青年の手により竜丘小学校内に竜丘文庫を設立し、青年会が管理する。
・昭和 2 年　各部落に独立文庫ができる。竜丘処女会文庫ができる。
・昭和 4 年 2 月 1 日　竜丘分庫、処女会文庫を統合して竜丘図書館を設立する。
・昭和 12 年 1 月 26 日　村立図書館となる。
・昭和 19 年 12 月 20 日　県立図書館長・乙部泉三郎氏を招き、読書講習会を開く。
・昭和 21 年 3 月　マッカーサーの命により軍事関係の図書約 400 冊を廃棄する。
・昭和 23 年　公民館が設置され、公民館図書部となる。
・昭和 24 年 7 月　旧竜丘電気組合事務所を買収し、図書館に改造する。
・昭和 25 年 10 月 24 日　創立 20 周年記念を兼ね開館式を行う。
・昭和 31 年 9 月 30 日　１市７か村合併により、飯田市立図書館竜丘分館となる。
・昭和 51 年 4 月 1 日　公民館新築に伴い、同建物内に分館を併設し開館。
・昭和 57 年 5 月　土曜貸出を始める。
・平成 8 年 4 月 1 日　分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
・平成 13 年 5 月 5 日　公民館の新築に伴い同建物内に併設し開館する。（公民館の中心施設として設置）

⑧ 川路分館

・大正 14 年　小学校内に図書室を設置。
・昭和 17 年 3 月　村立川路図書室となる。
・昭和 36 年 3 月 31 日　川路村は飯田市に合併し、飯田市立図書館川路分館となる。
・昭和 36 年 6 月 27 日　大水害にて蔵書が全部水に浸り、廃棄する。
・昭和 41 年 4 月 1 日　飯田市役所川路支所の一室を図書館とする。
・昭和 57 年 3 月　公民館新築に伴い、同建物内に分館を併設し、開館。
・昭和 57 年 4 月　土曜貸出を始める。
・平成 8 年 4 月 1 日　分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

⑨ 三穂分館

・明治 29 年　三穂親友会創立。
・明治 38 年　日露戦争並びに親友会創立 10 周年記念事業として親友文庫を創設。
・大正 11 年　親友会文庫を三穂小学校に移管。
・大正 15 年　当時すでに誕生していた三穂青年会部落文庫を統合して村立図書館とする。同時に青年会が運営する。
・昭和 22 年 5 月　村立図書館を公民館に移管し、公民館図書部として発足する。
・昭和 26 年　部落巡回文庫開設。
・昭和 31 年 9 月 30 日　１市７か村の合併により、飯田市立図書館三穂分館となる。
・昭和 56 年 5 月　土曜貸出を始める。
・昭和 59 年 1 月 23 日　公民館の新築に伴い、同建物内に分館を開設し開館する。
・平成 8 年 4 月 1 日　分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

⑩ 山本分館

・大正 11 年　各部落の青年会図書をまとめ、役場の２階に図書室が設けられる。運営は青年会があたる。
・昭和 2 年　山本小学校校庭の一隅の建物に「山本青年会図書室」を設立する。工費 740 円。
・昭和 26 年　山本公民館図書部へ移管。この時、青年学校図書もここへ移して

一本化する。
・昭和 31 年 9 月 30 日　１市７か村の合併により、飯田市立図書館山本分館となる。
・昭和 35 年 7 月 20 日　山本支所の裏手に倉庫を改造し更に増築。ここに図書館を移す。
・昭和 49 年 5 月 11 日　公民館を新築し、その一室を図書館分館とする。
・昭和 57 年 5 月　土曜貸出を始める。
・平成 6 年 4 月 9 日　公民館の新築に伴い、別棟に図書館を併設しオープンする。
・平成 8 年 4 月 1 日　分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

⑪ 伊賀良分館

・昭和 15 年 1 月 15 日　伊賀良青年団新年総会において、図書館の建設を決議。
・昭和 15 年 2 月　北方・赤間栄吉氏の建築寄附により公会堂を改造して利用することとなる。敷地として村役場付近大平田所有を買収。
・昭和 15 年 2 月 27 日　県立図書館長・乙部泉三郎氏来村し設計指導する。設計者・木下作治氏。
・昭和 25 年 1 月　青年団は図書館が狭くなったので新築の計画を立て、資金の積み立てを計画する。以後毎年 5,000 円ないし 10,000 円の積み立てをする。
・昭和 27 年　伊賀良公民館図書部となる。ただし、運営は青年団があたる。
・昭和 29 年　再び伊賀良青年団図書部となる。
・昭和 31 年 9 月 30 日　１市７か村の合併により、飯田市立図書館伊賀良分館となる。
・昭和 35 年　新築することに決定、予算 85 万円。
・昭和 36 年 3 月 31 日　新築する。
・昭和 54 年 5 月　土曜貸出を始める。
・昭和 63 年 4 月 9 日　公民館新築に伴い、同建物内に分館を併設し開館する。
・昭和 63 年 4 月　毎週土曜日に加えて毎週水曜日の貸出を始める。
・平成 8 年 4 月 1 日　分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
・平成 18 年 4 月 22 日　伊賀良学習交流センター竣工に伴い、同館内に分館を移転してオープン。
・平成 19 年 6 月　開館日を拡大、火曜日と木曜日の午後も開館。
・平成 22 年 9 月　木曜日午前中開館

⑫ 羽場分館

・昭和 42 年 11 月 1 日　羽場地区に羽場分室を設置。
・昭和 43 年 4 月 1 日　羽場分館となり、中央・第１・第２公会堂の３か所で貸出をする。
・昭和 54 年 3 月 27 日　公民館の新築に伴いその一室を図書館分館とし、中央公会堂は閉鎖する。
・昭和 54 年 5 月　土曜貸出を始める。
・昭和 58 年 4 月　土曜貸出に大人も含める。
・平成 元年 4 月　毎週土曜日に加えて毎週水曜日の貸出を始める。
・平成 8 年 4 月 1 日　分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
・平成 10 年 10 月　公会堂の改修に伴い、羽場大休の第一分室を閉鎖する。
・平成 12 年 3 月　羽場大通りの第二分室を閉鎖する。

⑬ 丸山分館

・昭和 45 年 4 月 1 日　丸山地区に分室を設置、飯田農協・滝ノ沢集会所の２か所で貸出をする。
・昭和 46 年 4 月 1 日　丸山分館となり、飯田農協・滝ノ沢集会所の２か所で貸出をする。
・昭和 48 年 6 月 1 日　飯田農協を廃し、丸山連合自治会集会所で貸出をする。
・昭和 49 年 7 月 20 日　丸山公民館の一室にて貸出をする。
・昭和 55 年 4 月　丸山公民館（全面改築）完成、図書室にて貸出をする。
・昭和 56 年 4 月　土曜貸出を始める。

・昭和 58 年 7 月 16 日　丸山連合自治会集会所での貸出を止め、新たに丸山児童館で貸出し、土曜貸出も児童館で行う。
・平成 元年 2 月　丸山児童館での貸出を止め、丸山公民館で土曜貸出を始める。
・平成 2 年　滝の沢集会所（新築）滝の沢分室
・平成 8 年 4 月 1 日　分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
・平成 15 年 3 月 31 日　滝の沢分室を閉鎖する。

⑭ 東野分館

・昭和 60 年 4 月 1 日　東野公民館の 2 階一室に東野分館を設置する。
・昭和 60 年 6 月 1 日　開館、土曜貸出を始める。
・平成 8 年 4 月 1 日　分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

⑮ 上村分館

・平成 17 年 10 月 1 日　飯田市に合併。飯田市立中央図書館上村分館となる。
・平成 22 年 9 月　土曜日開館を第 2・第 4 の 10 時～12 時と改める。

⑯ 南信濃分館

・平成 17 年 10 月 1 日　飯田市に合併。飯田市立中央図書館南信濃分館となる。
・平成 18 年 10 月 1 日　定期開館開始。

(4) 飯田図書館 歴代館長

	氏　名	兼務／専任	在任期間
初　代	掛 川　良 平	兼 務	大正 4.11～昭和 6.3
第二代	両 限　喜 重	兼 務	昭和 6.4～昭和 13.3
第三代	本 堂　順 一	兼 務	昭和 13.4～昭和 22.3
第四代	伊 藤　兵 三	専 任	昭和 22.7～昭和 24.3
第五代	小 林　保 一（郊人）	専 任	昭和 25.3～昭和 26.9
第六代	本 堂　順 一	兼 務	昭和 26.10～昭和 27.3
第七代	池 元　威 男	専 任	昭和 27.4～昭和 31.3
第八代	松 澤　太 郎	兼 務	昭和 31.4～昭和 39.3
第九代	高 堂　正 男	兼 務	昭和 39.4～昭和 40.3
第十代	池 田　寿 一	専 任	昭和 40.4～昭和 51.3
第十一代	林　　正 敏	専 任	昭和 51.4～昭和 55.3
第十二代	今 村　兼 義	専 任	昭和 55.4～平成 6.3
第十三代	代 田　一 行	専 任	平成 6.4～平成 10.3
第十四代	福 澤　善 紀	専 任	平成 10.4～平成 12.3
第十五代	岡 田　昌 伸	専 任	平成 12.4～平成 17.3
第十六代	稲 吉　憲 一	専 任	平成 17.4～平成 18.3
第十七代	仲 平　和 夫	専 任	平成 18.4～平成 22.3
第十八代	牧 内　和 人	専 任	平成 22.4～平成 25.3
第十九代	加 藤　みゆき	専 任	平成 25.4～

2 施 設

(1)中央図書館(TEL 0265-22-0706・FAX 0265-22-0235)

・敷 地　飯田市追手町 2 丁目 677 番地 3　面 積　1,625.47 ㎡
・建 物　鉄筋コンクリート3階建
　建築面積　1,014.28 ㎡　延床面積　2,507.63 ㎡

(2)　地 域 館

鼎図書館(TEL 0265-23-9901・FAX 0265-23-9908)

・敷 地　飯田市鼎中平 2246 番地　面 積　1,117 ㎡
・建 物　木造平屋建　268.30 ㎡

上郷図書館(TEL 0265-52-2551・FAX 0265-52-2574)

・敷 地　飯田市上郷黒田 442 番地 1　面 積　1,249.83 ㎡
・建 物　鉄筋コンクリート 2 階建
　建築面積　581.89 ㎡　延床面積　1,117.31 ㎡

(3)　分　館

分　館　名	独　立・併　設	面積(㎡)
座　光　寺	座光寺公民館内	53.00
松　　尾	松尾公民館内	101.68
下　久　堅	下久堅公民館内	78.00
上　久　堅	上久堅農村環境改善センター内	36.45
千　　代	千代基幹集落センター内	77.90
	毛呂窪公民館(千栄分室)	
龍　　江	龍江公民館内	77.49
竜　　丘	竜丘公民館内	136.80 (内お話の部屋 28 ㎡、内書庫 7.2 ㎡)
川　　路	川路公民館内	49.56
三　　穂	三穂多目的研修センター内	63.18
山　　本	山本公民館内	90.72
伊　賀　良	伊賀良学習交流センター内	299.95
羽　　場	羽場公民館内	58.59
丸　　山	丸山公民館内	61.20
東　　野	東野公民館内	78.00
上　　村	かみっこ交流館内	162.75
南　信　濃	南信濃学習交流センター内	40.00
16 分館・1 分室		合計　1,465.27 ㎡

(4)　コンピュータシステム

平成 23 年 7 月 1 新システム導入・南信州図書館ネットワーク運用開始。

・参加自治体:飯田市・松川町・高森町
・新システム: NEC LiCS－Re(リッチクライアント型システム)
・MARC : TRC MARC Tタイプ (図書館流通センター)

3 職 員 （平成 25 年 4 月 1 日現在）

中央図書館					
館 長	加 藤 みゆき(司書)				
情報ｻｰﾋﾞｽ係	係長	瀧本 明子(司書)	鼎図書館	館長	岡庭 和子 (司書)
		関口 真紀(司書)			矢澤 恵 (司書)
		樋本 有希(司書)		臨職	関口 京子 (司書)
		齊藤千恵美(司書)		ﾊﾟｰﾄ	福沢 淑子 (司書)
	臨職	鈴川小野花(司書)		〃	向山 敦子 (司書)
		松下 佑子(司書)		〃	清川 俊子 (司書)
		熊谷 寿志(司書)			
		小池久仁子(司書)			
		加藤 敦子(司書教諭)	上郷図書館	館長	牧内 睦子 (司書教諭)
		的場 美貴(司書)			宮下 裕司(司書)
		伊藤しのぶ(司書)			木下 和子(司書教諭)
		田中 瑞絵(司書)		臨職	杉本 敏子(司書)
ﾋﾞｼﾞﾈｽ支援係	係長	(館長兼務)		ﾊﾟｰﾄ	前澤 道子
		伊坪美穂子(司書)		〃	矢野 寛子
	臨職	中村 糸江 (司書)			
土･日パート職員		吉川 里佳 (司書)			
〃		矢野 寛子			
〃		澤上有希子			

分 館(16 館)

・分館長(各地区公民館長推薦) ・分館主事(公民館主事が兼務)

分館名	分館長	分館主事	分館名	分館長	分館主事
羽 場	藤尾 雅子	鈴木 勇気	龍 江	木下 邦子	島田 大輔
丸 山	羽生 茂恒	牧内 妙子	竜 丘	前沢喜代美	熊谷 隆幸
東 野	小町 慶子	和田健太朗	川 路	清水 啓子	小島 一人
座光寺	三村 正子	内山 秀治	三 穂	井上 延子	下平 一博
松 尾	木下 泉	横山 淳也	山 本	松浦 澄子	村松 陽介
下久堅	山下 久枝	長谷川裕介	伊賀良	檀原 崔肇	小島 徹
上久堅	桐生 千秋	永田麻巳子	上 村	古瀬 幸与	村澤 勝弘
千 代	川手 清加	下岡 祥平	南信濃	鳴澤 泉	林優 一郎

・分館係員(パート職員) 69 人が交代勤務(主に水･土･日曜日)

4 図書館協議会委員

(1)設置根拠

図書館法第 15 条・飯田市立図書館条例第 11 条の規定により図書館協議会を置く。

(2)任 期 : 2年

(3)任 務 : 図書館の運営に関し、図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行なうサービス業務につき館長に意見を述べる。

(4)平成 24 年度の主な協議事項

第１回	6 月 28 日	平成 23 年度事業報告・24 年度運営方針及び事業計画
第２回	9 月 25 日	「図書館への防犯カメラ設置の是非について」(諮問)
第３回	10 月 23 日	「図書館への防犯カメラ設置の是非について」(討議)
第４回	11 月 21 日	「図書館への防犯カメラ設置の是非について」(討議)
第５回	12 月 25 日	「図書館への防犯カメラ設置の是非について」(答申)
		「飯田市立図書館選書方針」等について
第６回	3 月 5 日	平成 24 年度事業概要の報告等

(5)図書館協議会委員 10 名(平成 25 年度)

今井 俊文	大蔵 隆	加藤 静夫	久保田 雅子
小平 順一	林 武史	松下 敏子	松島 タセ子
宮田 美絵	矢澤 朱美		

5 利用案内

(1) 中央図書館・地域館

① 開館時間　午前10時～午後6時
※中央図書館は、木曜日(祝日を除く)のみ夜8時まで開館

② 休 館 日　毎週月曜日・毎月第4金曜日・年末年始(12/28～1/4)
※祝日は鼎・上郷図書館のみ休館(中央は月曜以外の祝日は開館)

③ 館内閲覧　開館時間内は誰でも自由に閲覧できる

④ 館外貸出　飯田・下伊那地区に在住または通学、通勤している方
※中央・地域館　1人10冊　分館　1人4冊　貸出期間 2週間

(2) 分　館

【伊賀良分館】
火・水・日曜日 : 午後 1時～5時
木・土曜日 : 午前10時～午後5時

【松尾・竜丘分館】
水曜日 : 午後 1時～5時
土曜日 : 午前10時～午後 5時
日曜日 : 午後 1時～5時

【三穂分館】
水曜日 : 午前 9時30分～11時30分
午後 3時～5時
土曜日 : 午前10時～午後 5時

【山本分館】
水曜日 : 午後 1時～5時
※第1・3のみ午前10～12時も開館
土曜日 : 午前 9時～午後5時
日曜日 : 午後 1時～5時

【羽場・丸山・東野・座光寺・下久堅
上久堅・千代・龍江・川路分館】
水曜日 : 午後 1時～5時 (川路は2時～・千代は2時30分～)
土曜日 : 午前10時～午後 5時

【上村分館】
月～金曜日 : 午後 3時～5時
土曜日 : 第2・4　午前10時～12時

【南信濃分館】
月～金曜日 : 午後 3時～5時
土曜日 : 午前10時～12時

(平成25年3月31日現在)

6 予　算

(1) 当 初 予 算

(単位 : 千円)

内　　訳	平成25年度当初	平成24年度当初	比　　較
飯田市予算総額	43,272,000	42,419,000	853,000
10款　教　育　費	4,232,868	3,801,151	431,717
5項　社会教育費	1,896,647	1,530,352	366,295
1目　社会教育総務費	381,393	215,624	165,769
2目　青少年健全育成費	1,924	2,880	△ 956
3目　文化財保護費	135,675	120,774	14,901
4目　公民館費	322,361	333,477	△ 11,116
5目　図書館費	200,250	210,367	△ 10,117
6目　美術博物館費	248,354	269,766	△ 21,412
7目　文化会館費	544,381	289,489	254,892
8目　歴史研究所費	62,309	87,975	△ 25,666

(2) 平成24年度決算額一覧

(款)10 教育費 (項)05 社会教育費 (目)05 図書館費　　※人件費を除く（単位:円）

細々目	細 節	中 央	鼎	上 郷	分 館	計	23年度決算	前年度対比
図 書購入費	消耗図書費	19,044,895	3,698,645	7,404,046	7,551,699	37,699,285	36,160,010	1,539,275
	備品図書費	604,795				604,795	679,683	△ 74,888
図書館管 理運営費	臨時職員賃金	22,257,736				22,257,736	21,855,475	402,261
	消耗品費	1,101,420	192,675	349,783		1,643,878	2,706,835	△ 1,062,957
	燃料費		53,053	43,699	158,227	254,979	456,737	△ 201,758
	印刷製本費	99,435			143,600	243,035	250,502	△ 7,467
	光熱水費	4,578,947	385,620	1,494,988	367,060	6,826,615	6,814,750	11,865
	修繕費	375,260		155,755	7,350	538,365	383,549	154,816
	通信運搬費	1,639,473	105,057	161,347	43,872	1,949,749	1,986,441	△ 36,692
	手数料	42,000				42,000	315,000	△ 273,000
	保険料	164,676		21,970		186,646	162,930	23,716
	委託料	28,637,335				28,637,335	35,921,574	△ 7,284,239
	使用料及び賃借料	1,962,303	15,116	264,217	16,380	2,258,016	1,867,722	390,294
	工事請負費	104,433	577,500	8,526,000	246,154	9,454,087	3,401,355	6,052,732
	備品購入費	343,350			924,000	1,267,350	648,260	619,090
	負担金(上郷駐車場)			228,000		228,000	205,200	22,800
	公課費	48,000				48,000	15,200	32,800
図書館事業費	委員等報酬	481,700				481,700	421,400	60,300
	賃 金	1,854,970	415,550	412,080	14,982,490	17,665,090	17,469,761	195,329
	報償費	364,205				364,205	349,999	14,206
	旅 費	80,847				80,847	149,672	△ 68,825
	燃料費	271,017				271,017	0	271,017
	保険料(ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ)	25,500				25,500	23,800	1,700
	委託料	964,224				964,224	0	964,224
	負担金補助及び交付金	70,700				70,700	70,700	0
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｼｽﾃﾑ運営事業費		7,312,000				7,312,000	6,769,200	542,800
はじめまして絵本事業費		769,755				769,755	860,075	△ 90,320
ビジネス支援事業費		467,332				467,332	494,026	△ 26,694
計		93,666,308	5,443,216	19,061,885	24,440,832	142,612,241	140,439,856	2,172,385

【23年度】緊急雇用創出事業(郷土資料保存事業)7,965,000円
重点分野雇用創造事業(分館蔵書データ化事業)21,216,825円

【24年度】緊急雇用創出事業(郷土資料保存事業)3,537,639円
重点分野雇用創出事業(美博・歴研書誌情報活用事業)17,785,381円

7 図書館貴重資料など

(1) マイクロフィルム

資　料　名	巻　数	資　料　名	巻　数
南信新聞 M35.1.1～	112 巻	第一線 他	1 巻
信州合同新聞	10 巻	平沢文書	27 巻
南信州 ～H23.12	216 巻	飯田市広報他	1 巻
伊那公報	71 巻	下伊那青年他	2 巻
信濃大衆新聞	15 巻	信州青年他	1 巻
信濃時事新聞	20 巻	飯田通信	1 巻
信州日報 ～H23.12	171 巻	竜丘時報	1 巻
南信日報	23 巻	青年史資料 18 地区	71 巻
南信タイムズ	2 巻	青年運動資料(金箱)	8 巻
飯田日日新聞他	1 巻	伊藤大八資料	11 巻
週刊下伊那	2 巻	上郷青年会資料	2 巻
飯田ニュース	3 巻	上郷時報	4 巻
飯田毎日	4 巻	信濃大衆新聞	3 巻
飯田の新聞	8 巻	その他新聞	5 巻
信州音楽新聞他	1 巻	飯田文書	13 巻
南信時事	11 巻	郷土雑誌	5 巻
信陽新聞	3 巻	上郷青年団資料	38 巻
新信州日報	1 巻	下伊那連合青年団資料	23 巻
南信毎日新聞	1 巻		
飯田町小史他	1 巻	平成 24 年度末累計	893 巻

(2) デジタル資料

資　料　名		
郷土新聞「南信州新聞」	昭 29～平 23.12	(H21～H24 年度作成)
〃 「信州日報」(「南信日報」含)	昭 23.6～平 24.12	(H22～H24 年度作成)
〃 「新信州日報」	昭 20.11～昭 22.9	(H22～H24 年度作成)
〃 「南信新聞」	明 35～昭 14.7	(H23・24 年度作成)
〃 「第一線」	大 12・13	(H24 年度作成)
〃 「飯田ニュース」	昭 6.8	(H24 年度作成)
〃 「南信時事」	昭 22～昭 29.9	(H24 年度作成)
〃 「南信タイムズ」	昭 29.7～昭 30.10	(H24 年度作成)
〃 「飯田の新聞」	昭 23.6～昭 29.10	(H24 年度作成)
〃 「下伊那青年」他		(H24 年度作成)
郷土雑誌「あけぼの」他	87 誌	(H22 年度作成)
〃 「伊那」戦前分等	67 誌	(H23 年度作成)
〃「下伊那教育」「組合製糸研究」等	16 誌	(H24 年度作成)

(3)特殊コレクション

① 堀家所蔵古書　1,330 点(7,882 冊)

明治 34 年、飯田文庫が飯田藩主堀氏所蔵の和漢書を購入し、飯田図書館の基礎がつくられた。儒教、国史、中国史等がある。その後飯田図書館で収集した貴重資料、太宰春台の著書等も含まれている。和書については国書総目録（岩波書店刊）に掲載されているため、遠方からの利用者が多い。

② 市岡家所蔵古書　古書 178 点　文書 1,004 点　軸物 6 点　標本 6 点

昭和 25 年、三重県津市 市岡勝太郎氏より飯田関係文書を委託され保管する。江戸時代の伊那谷三代官の一人であった市岡氏は、製糸、元結業の創始者であり、千村役所に勤めた。久々里旅日記や「雲彩寺所蔵古物之図」（写真のみ）等、博物関係の原資料がある。

③ 村沢文庫　1,043 点

飯田市中央通り村沢武夫氏が、昭和 50 年代から亡くなるまで寄贈し続けた郷土資料類である。「伊那歌道史」の原資料となった歌人の短冊や、飯田藩の資料は貴重である

④ 平沢文書　8,300 点(H15.7 飯田市美術博物館へ移管　H16.3 県宝に指定後歴史研究所へ移管、図書館はマイクロフィルム保管)

飯田市下久堅北原の庄屋平沢家に所蔵されていた近世文書である。昭和 43 年 10 月平沢清人氏から寄贈された。太閤朱印検地帳等地方文書として全国的にも、系統づけられている文書として貴重である。

⑤ 飯田文書　243 点

飯田町、上飯田村（上飯田村の地図）の近世文書等。元和～慶応までの文書で「宿継要書留」等が含まれている。

⑥ 森本資料

飯田市松尾新井の森本信也氏から昭和 51 年に寄贈された資料。大正、昭和にかけて国民精神作興会の下伊那支部の事務局をしていた森本州平氏が持っていた全国及び伊那谷の政治活動資料で、伊那谷の近代史をひもとく貴重な資料である。

⑦ 日夏文庫　9,940 冊

飯田市名誉市民　日夏耿之介氏の所蔵されていた図書。日夏氏没後、昭和 56 年に図書館に移管された。洋書、和漢籍・雑誌・詩を中心に文学のものが多い。

⑧ 伊藤大八関係資料

飯田市伊賀良上殿岡出身の伊藤大八に送られた明治時代の政治家の手紙類。伊藤大八は、第 1 回衆議院選挙に自由党に属して当選。党の幹部として活躍した。中江兆民、原　敬等の直筆の手紙がある。

⑨ 青年運動史関係資料

昭和 34 年「下伊那青年運動史」が発行され、その原資料となった各青年団の会報等が発行と同時に寄贈された。

⑩ 鉄斎資料

飯田鉄斎愛好会から平成 2 年に寄贈された資料。図書、書、画、拓本がある。

⑪ 宮沢文庫　1,283 冊

飯田へ大学を設立したいという希望を抱いていた、生田村出身の宮沢芳重さんが送り続けてきた図書、雑誌、哲学・数学・天文の図書等。

⑫ 正木文庫

飯田出身、名古屋在住の郷土史家正木敬二氏が執筆するにあたり収集しまとめられた資料。スクラップ帳、生原稿、図書等約 240 点。追悼の会が飯田で行われた際、親族より図書館へ寄贈された。

⑬ 河竹文庫　71 冊

飯田市山本出身で、河竹黙阿弥の長女糸女の養嗣子となった河竹繁俊（飯田市名誉市民）氏と、その次男で演劇研究者河竹登志夫氏の、演劇史・歌舞伎史の著書等。昭和 43 年に飯田市に寄贈された。

⑭ 竹村浪の人文庫　1,222 冊

講釈師竹村浪の人が使っていた図書類と講談の台本（生原稿）641 冊。一般書 581 冊

⑮ 小林郊人文庫

郷土俳壇史を著した俳人でもあり、昭和 25 年第 5 代図書館長となり伊那谷の郷土資料の収集、保存に尽力し郷土史継承に努めた。代表作『伊那の俳人』『伊那農民騒動史』はじめ四十数冊出版した。氏の蔵書及び俳句資料や丹念な新聞切り抜き資料（昭和 3～41 年）がある。

⑯ 木下農業関係資料

飯田市高羽町木下誠氏から昭和 57 年に寄贈された農業関係資料。農業に関する県内で発行された農業雑誌、特に園芸に関するものが多い。

⑰ 横田文子資料

昭和 11 年第 3 回芥川賞候補ともなった、知久町出身の女流文学者横田文子氏が創刊した「女人文芸」等の雑誌。平成 2 年遺族より寄贈された。その後岡島照子さんから関係者や関係雑誌の寄贈を受け、合わせて横田文子資料として保管している。

⑱ 古島文庫　757 冊

主税町出身の元東京大学名誉教授で、日本を代表する農業史学者であり「古島史学」を築いた古島敏雄氏の著書等。平成 7 年没後、東大にあった蔵書の一部が飯田図書館に寄贈された。

⑲ 日下部文庫【上郷図書館所蔵】2,207 冊

郷土史家日下部新一氏が所蔵していた図書と資料で、遺族から寄贈された。資料は主として著作活動のために収集したものと思われ、スクラップ帳・生原稿を含む。生前寄贈された郷土雑誌も多数。

⑳ 松澤太郎文庫

平成 20 年 4 月に寄贈された元市長松澤太郎氏の蔵書約 2,200 冊（雑誌含む）。河上肇全集、會津八一の全集と貴重な画集、夏目漱石及び森鴎外の全集など幅広い資料。

㉑ 高原日記コレクション【伊賀良学習交流センター所蔵】

平成 20 年に寄贈された飯田市山本在住ジャーナリスト故高原富保氏の蔵書 704 冊。すべて作家等の日記のみを集めたコレクション。

㉒ 松尾亨庵史料

昭和 63（1988）年に龍江の松尾家より飯田市立図書館に寄託された、松尾亨庵関係史料。内容は、医学・漢学漢詩関係刊本、医学・漢学関係手稿、写本、雑書等。

㉓ 清内路煙草資料

清内路煙草を製造し販売した原澤喜之助（飯田町）関係の資料や書簡等 657 点を清内路の郷土史家桜井伴氏が収集、昭和 60 年当館に寄贈された。

㉔ 小林正之文庫【上郷図書館所蔵】

竜丘村（飯田市長野原）出身の早稲田大学名誉教授（西洋史学）小林正之氏の蔵書が没後に寄贈されたもの。歴史・社会科学分野を中心とした図書約 1,300 冊と雑誌約 1,200 冊。

㉕ 黒田文庫【上郷図書館所蔵】

大正時代から昭和 30 年代にかけて下黒田青年会が管理運営をしていた地域文庫で、下黒田北集会所に保管されていた主に戦前の出版物 686 冊が、上郷図書館へ寄贈された。

その他

「飯田市立中央図書館漢籍目録」資料、筒井文庫、木地師資料など

8 利用状況

(1) 貸出年度別統計

（単位 冊）

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
中　央	369,264	380,445	395,003	394,057	403,171	406,133	431,219	451,438	372,118	424,076	425,545
鼎	96,848	98,510	106,791	109,616	112,260	116,485	122,916	127,338	139,959	132,310	124,288
上　郷	142,238	142,602	133,493	136,872	143,778	140,357	140,940	148,060	170,366	152,173	137,150
羽　場	15,228	19,792	20,699	18,154	16,714	17,577	18,918	16,398	14,170	13,540	13,305
丸　山	7,151	6,809	7,326	8,480	8,761	8,201	7,350	5,868	5,520	5,143	5,105
東　野	11,434	10,427	9,551	10,065	10,343	9,810	11,531	10,417	10,255	9,067	8,893
座光寺	7,956	8,921	8,425	7,886	7,884	7,099	6,624	7,258	8,157	7,782	7,679
松　尾	23,168	23,397	22,795	20,422	19,291	18,909	19,505	18,957	17,559	16,438	18,222
下久堅	14,561	14,998	16,050	13,531	13,766	15,772	15,944	15,827	15,713	15,487	12,844
上久堅	2,786	2,473	4,381	3,557	6,526	6,591	4,559	4,850	5,174	3,094	4,057
千　代	4,059	3,316	3,318	4,847	7,728	6,619	6,097	6,824	6,125	5,289	5,926
龍　江	11,273	11,800	11,013	11,397	10,449	8,851	9,447	8,766	9,428	8,261	7,836
竜　丘	29,091	30,362	31,511	30,223	29,428	31,483	30,409	33,200	29,871	29,150	28,428
川　路	5,533	7,017	7,270	6,596	7,487	6,945	6,666	6,313	6,445	6,152	6,006
三　穂	8,659	8,965	8,831	9,755	10,485	10,684	10,599	8,985	9,340	8,092	8,835
山　本	13,992	12,432	9,518	9,403	11,051	11,511	12,471	12,273	11,151	9,307	11,672
伊賀良	24,136	23,269	23,478	24,074	37,884	40,420	46,459	42,474	37,926	38,388	39,727
上　村					971	1,160	886	1,146	1,545	1,131	736
南信濃					2,188	5,363	4,853	3,788	3,677	3,546	3,052
計	787,377	805,535	819,453	818,935	860,165	869,970	907,393	930,180	874,499	888,426	869,306

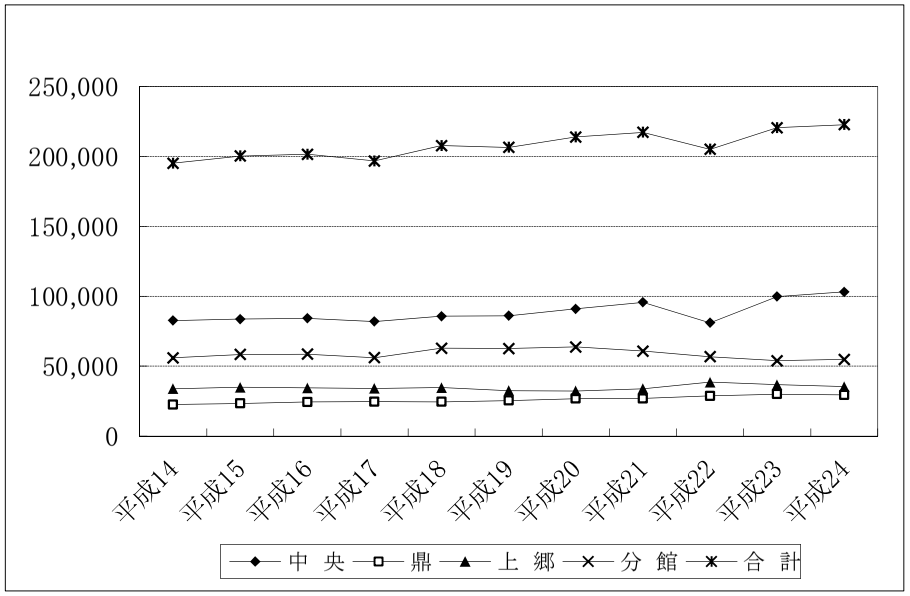
(2) 飯田市立図書館利用者(貸出者)数推移

	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	前年比	5年前比
中　央	82,675	83,671	84,223	81,942	85,787	86,065	91,024	95,748	81,009	99,865	103,133	103.3%	119.8%
鼎	22,594	23,320	24,361	24,639	24,462	25,364	26,836	26,906	28,720	30,019	29,453	98.1%	116.1%
上　郷	33,942	34,935	34,425	34,108	34,684	32,560	32,342	33,922	38,576	36,804	35,431	96.3%	108.8%
分　館	55,975	58,387	58,637	56,096	62,908	62,572	63,746	60,739	56,826	53,932	54,793	101.6%	87.6%
合　計	195,186	200,313	201,646	196,785	207,841	206,561	213,948	217,315	205,131	220,620	222,810	101.0%	107.9%

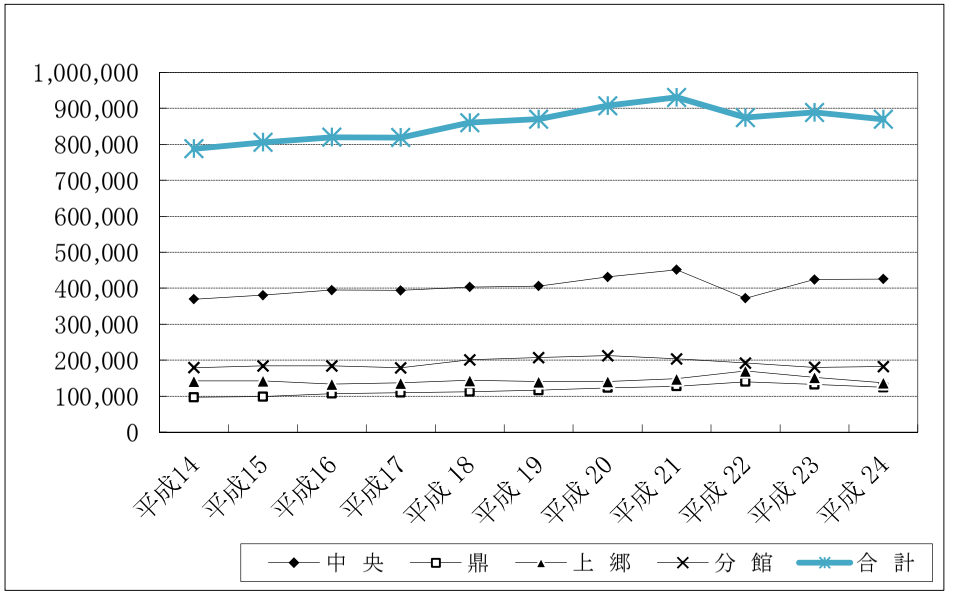
(3) 飯田市立図書館貸出冊数推移

	平成14	平成15	平成16	平成17	平成 18	平成 19	平成 20	平成 21	平成 22	平成 23	平成 24	前年比	5年前比
中　央	369,264	380,445	395,003	394,057	403,171	406,133	431,219	451,438	372,118	424,076	425,545	100.3%	104.8%
鼎	96,848	98,510	106,791	109,616	112,260	116,485	122,916	127,338	139,959	132,310	124,288	93.9%	106.7%
上　郷	142,238	142,602	133,493	136,872	143,778	140,357	140,940	148,242	170,366	152,173	137,150	90.1%	97.7%
分　館	179,027	183,978	184,166	178,390	200,956	206,995	212,318	203,344	192,056	179,867	182,323	101.4%	88.1%
合　計	787,377	805,535	819,453	818,935	860,165	869,970	907,393	930,362	874,499	888,426	869,306	97.8%	99.9%

貸出者数の推移



貸出冊数の推移



(4) 平成 24 年度 利用が多かった本ベスト 10

	一 般 書	郷土資料	児 童 書	絵 本
1	『真夏の方程式』 東野 圭吾／著	『鼎町史(上・下)』 鼎町史編纂委員会／編	『番ねずみのヤカちゃん』 リチャード・ウィルバー／作	『きゅっきゅっきゅっ』 林 明子／作
2	『麒麟の翼』 東野 圭吾／著	『鼎町誌』 鼎町誌編纂委員会／編	『ミッケ！』シリーズ ウォルター・ウィック／作	『がたんごとん がたんごとん』 安西 水丸／作
3	『謎解きはディナーのあとで』 東川 篤哉／著	『みるよむまなぶ飯田・下伊那の歴史』 飯田市歴史研究所／編	『かいけつゾロリ』シリーズ 原 ゆたか／作	『くだもの』 平山 和子／作
4	『ナミヤ雑貨店の奇蹟』 東野 圭吾／著	『飯田・上飯田の歴史』 飯田市歴史研究所／編	『エルマーのぼうけん』 ルース・スタイルス・ガネット／作	『くっついた』 三浦 太郎／作
5	『船を編む』 三浦 しをん／著	『知恵の樹を育てる，信州上郷図書館物語』 是枝 英子／著	『新ウォーリーをさがせ！』 マーティン・ハンドフォード／作	『ころころころ』 元永 定正／作
6	『マスカレード・ホテル』 東野 圭吾／著	『名古熊区誌』 名古熊区誌編纂委員会／編	『かえってきた名探偵』 杉山 亮／作	『いないいないばあ』 瀬川 康男／絵
7	『夜行観覧車』 湊 かなえ／著	『南信州の寺院』 南信州の寺院刊行委員会／編	『うわさのとんでも魔女商会』 あんびる やすこ／作	『ぱんだいすき』 ふくしま あきえ／絵
8	『往復書簡』 湊 かなえ／著	『伊那谷の地名①』 伊那谷地名研究会／編著	『時の迷路，続』 香川 元太郎／作	『どろんこハリー』 マーガレット・ブロイ・グレアム／絵
9	『ビブリア古書堂の事件手帖』 三上 延／著	『飯田市の70年』 伊那史学会／編	『若おかみは小学生！』シリーズ 令丈 ヒロ子／作	『バムとケロ』シリーズ 島田 ゆか／作
10	『新参者』 東野 圭吾／著	『一色史』 一色史編纂委員会／編	『恋のギュービッド大作戦』 石崎 洋司／作	『あっちゃんあがつく』 さいとう しのぶ／作

(5) 利用統計数値

中央・鼎・上郷・16 分館含む　　基礎数値（平成 25 年 3 月末日現在）

A：人　　口　105,750	B：蔵書冊数　740,623	C：受入冊数　35,117
D：購入冊数　27,677	E：個人貸出冊数　824,575	F：除籍冊数　13,853
G：図書購入費　38,304,080	H：図書館費　142,612,241	Ⅰ：個人利用者数　217,439
J：開架図書冊数　464,514	K：個人登録者数　25,941	L：全館総貸出数　869,306
M：全予約件数　49,844		

中央・鼎・上郷（３館のみ）

N：予約件数　45,381	O：調査相談数　4,194	P：複写サービス　22,668
Q：職員数　23	R：司書有資格者数　20	S：３館総貸出数　686,983

開館日数　（中央図書館 291 日　鼎図書館 286 日　上郷図書館 285 日　分館平均 139 日）

項目		24 年度	23 年度	23 年度全国平均
市民一人あたり蔵書冊数	B／A	7.0 冊	6.9 冊	3.2 冊
〃　受入冊数	C／A	0.3 冊	0.3 冊	0.1 冊
〃　貸出冊数	E／A	7.8 冊	8.1 冊	5.7 冊
〃　図書購入費	G／A	362 円	357 円	228 円
利用者一人１回あたりの貸出冊数	E／Ⅰ	3.8 冊	3.8 冊	
職員一人あたりの貸出冊数	S／Q	29,869 冊	28,342 冊	
蔵書回転率	L／B	117.4%	123.5%	
開架率	J／B	62.7%	63.4%	
利用者登録率	K／A	24.5%	20.8%	
司書率	R／Q	87.0%	88.0%	

◆サービス効果

平成 24 年度購入図書平均単価×市民一人あたり貸出冊数－市民一人あたり図書館費

G／D	×	E／A	－	H／A	＝	サービス効果
1,384 円	×	7.8 冊	－	1,349 円	＝	9,446 円

9 図書館関係団体

「飯伊婦人文庫」　　（会員数 150 人）

◆飯伊婦人文庫の歴史

昭和 25 年、県立図書館が館外貸出方式の一つとして始めた、本と母親とを子どもを通じて結ぶ制度は、その後県下各地に県ＰＴＡ母親文庫として広がっていった。県南部の飯田下伊那地方においても、昭和 32 年飯田図書館配本所とし、婦人会とＰＴＡの母親を中心に『飯田婦人文庫』・『飯伊母親文庫』の二つの団体が組織され正式に発足した。昭和 46 年ＰＴＡ組織では子どもの卒業とともに会員も離れていってしまうことと、自主的参加による読書会を充実していきたいとの理由から、婦人会を中心とした組織の一本化をはかり、名称も『飯伊婦人文庫』となった。

読書は基本的には個人的な行為であるが、集団だから読める、みんなと一緒だから学べるといった環境づくりをめざして、今日まで多くの活動と会員の育成を行ってきた。

◆飯伊婦人文庫の活動

昭和 32 年の発足当時より３本の柱を活動の中心に据えてきた。３本の柱とは『読むこと』、『書くこと』、『話し合うこと』である。この成果は毎年発行される『読書についての文集』や、各種読書会、他団体（豊橋読書サークル連絡会・中津川読書サークル連絡協議会など）との活発な交流などに現れている。これらの活動が評価され平成４年には飯田ムトス賞を、平成 10 年には野間読書推進賞を受賞した。

平成９年に出版した『みんなで読もう飯伊婦人文庫 40 年の歴史』は、婦人文庫の歩んできた道を多くの資料をもとにまとめてあり、飯田図書館の図書館史にもなっている。14 年２月には『つながりー聞き書き・70 人の女性に聞く読書と人生ー』を出版し、人の一生と読書の関係を聞き書きによりまとめることで、多くの読書の科学を獲得した。この出版の波及は高齢者学級や中学生との交流に発展した。これらの活動が図書館まつりの『中学生との読書会』に結実し、『高校生との読書会』へと発展していった。その後、働く市民のための『夜の読書会』に発展して、20 代～40 代男女の参加者が増え続けている。ここから歴史上初めての男性会員が誕生した。

飯田下伊那の各地で連綿と続けられてきた読書会を丹念に聞き書きし、３人以上で読む読書会が人と人のつながりをより深め、質の高い感動を受け取り、それが生きる糧となってきたことを実証したのが平成 19 年６月に出版した『みんなとだから読めた～聞き書きによる飯田下伊那地方の読書会の歴史～』である。本をまとめる中で、声に出してみんなで読む「群読」の持つ意味を言葉化し、文学講座や中学校・公民館など様々な場で「群読」を取り入れながら、広めている。この本は読書界に大きな波紋を投げかけ、飯田市歴史研究所の歴研賞奨励賞を受賞した。平成 19 年に飯田下伊那読書会交流会が 50 年ぶりが開催され、飯田下伊那読書会連絡会に発展して、現在の活動に至っている。

婦人文庫会員と市民の中に大人の文学に対する要求が高まったのを受けて、図書館と開催する文学連続講座は５年目になった。市民の要望に応えて内容を充実させ、年々、市民の参加が増えている。婦人文庫は、「読みつづけることが、生きることだ」をキーワードに読書推進につとめている。

朗読奉仕の会「声の輪」　　（会員数 68 人）

視覚障がい者など読書に困難がある方々のための、書籍を録音した「声の本」を作成しているボランティアグループ。昭和 57 年より朗読奉仕ボランティアが中央図書館に立ち上がった。一年間の初心者講習を終了した後、朗読ボランティアとして続けていただける方に随時加わっていただく。飯田下伊那には約 1,000 人の視覚障害者がおり、内約 100 人の方が「声の本」を利用している。その方々の期待に応えるべく、平成 23 年から DAISY（ディジー）図書（ＣＤ版）の作成を中心に以下の活動を行っている。

「声の本」の作成：〔DAISY 図書・テープ図書、の作成。年間約 200 タイトルの作品を作成し現在までに 2,818 タイトルを超えている。DAISY 図書も平成 11 年より取り組みが始められ、現在までに 571 余タイトルが出来上がっている。〕

月刊テープの作成と貸出：〔視覚障害者と会員との情報交換誌として毎月「声の輪だより」のＣＤ版及びテープ（46 分 1 巻）版を作成し、約 70 人の方に郵送による貸出を行っている。〕

利用者との交流会：〔利用者との意見交換会と相互親睦をはかるための交流忘年会を毎年開催している〕。

朗読技術向上：（定例学習会（毎月第４水曜日、第２火曜日）の実施とＮＨＫセミナーへの参加と、常に技術向上のための取り組みを行っている。）

質の高い声の本の作成と提供は、声の輪の方々の技術向上へのたゆまぬ努力と、リクエストに対する迅速な対応によって支えられている。また、単に読み手と聞き手の関係だけではなく、視覚障害者の方々の心の支えとなっている。図書館障害者サービスを 30 年以上にわたり支えてきた声の輪は、飯田市立図書館が県下に誇れるボランティアグループである。

「文章講座同窓会」　　（会員数　同窓会 66 人）

文章講座は、「文章を書くことと読書することとは深いつながりがある。読みを深めるには書くことは欠かせない。また文章を綴るには多くの本を読むことにもなる。読書会があるのだから文章を書く勉強会も必要ではないか」とのかねてからの願いから、“書くことの勉強会”として昭和 57 年１月開講した。

まず、第１期は新聞社の論説委員をしていた小原謙一氏を講師に迎え、文章についての講義及び作文の添削を中心に行われた。百余名の受講生は毎回レポートを提出し、講師の添削・講評を受け、さらに受講生の作文の中から講義のテキストとして取りあげた作品が地元紙に掲載されるなど活動が定着していった。

平成 9 年の第 16 期より元旭ヶ丘中学校校長の清水貫司氏が講師を務められ、平成 24 年の第 30 期閉講と共に勇退された。

平成 25 年 5 月からは元高森中学校校長の鎌倉貞男氏を３代目の講師に迎え、第 31 期が開講したところである。

この文章講座受講者は、講座終了後も各期で自主的なグループをつくり、書くことの相互学習を続けている。このグループをまとめたものを同窓会といい、この同窓会が主体的に取り組んで編集・発行している作品集として『くらしの中から』がある。

「子どもの本研究会」　　（会員数 22 人）

昭和 45 年から東京、大阪で開催された「日本子どもの本研究会」主催の全国児童文化講座がきっかけとなり、子どもの読書への取り組みに触発された当時の図書館職員が中心となって、学校の読書教育担当者などの協力を得て 47 年 7 月に発会された。当時会費 30 円で会の名称も「飯伊子どもの本研究会」とし、学校や保育園・幼稚園の先生、母親など 60 名の会員によってスタートした。読書についての横のつながりができたのはこの時が初めてで、当時としては画期的なことであった。

子どもに本を手渡したいとの思いは、各地に文庫の設立をうながすきっかけとなり、その後、23 もの文庫が市内にできた。文庫の活動はやがて図書館の分館整備の動きへとつながっていった。

また、作品研究、作家研究はやがて作家本人から話を聞いてみたいという欲求を生み、子どもたちが本と出会うにはまず周りの大人が本の素晴らしさを知ることが大切、との意図から「子どもの本の学校」が図書館・子どもの本研究会・地域文庫連絡会共催で開設された。

地域の児童文化にも貢献してきた。子どものための総合文化祭をとの願いから、「飯田子ども劇場」や市の社会教育課とともに立ち上げた「飯田子どもまつり」は、現在まで 30 回以上、回数を重ねながら続けられている。

現在も、会員の自ら学ぶ姿勢と子どもの本に対する会員相互の取り組みは意欲的で変わっていない。その時代時代の中で、地域の読書文化を向上させようと図書館とともに歩んできた。それらの活動は外部からも高く評価され、15 年 4 月には文部科学大臣賞を受賞し、会員相互の大きな励みとなった。

さらに、平成 11 年 5 月より新たな一歩として、会員有志により読みきかせのボランティア活動を開始し、そのための勉強会も行なっていたが、平成 22 年からボランティア活動グループは独自性を重視して独立して活動することとなった。また、一年間の活動記録としての文集を継続的に刊行している。そして子どもの本についての講演会を会独自で年に数回開催したりするなど、会の活動の充実や地域の読書文化の普及に努めている。

「読みきかせボランティアの会」　　（会員数　11 グループ 126 人）

平成 13･14 年度の 2 回、図書館の事業で読みきかせボランティア養成のための講習会を行った。その後平成 15 年 7 月に図書館の呼びかけにより、市内で読みきかせボランティア活動を行っているグループと講習会の受講者が立ち上げたグループとで「読みきかせボランティアの会」を発足した。子どもと一緒に絵本の世界を楽しみたい、子どもと本との橋渡しのお手伝いをしたいと願う読みきかせボランティアグループの集まりであるこの会は、他グループと情報を交換をしたり、研修会を行なったりしている。現在の登録グループは、「読みきかせグループ　おはなしのたまご」「下久堅おはなしサークル」「まじっくぽけっと」「丸山おはなしの会」「モン・クール」「おはなしくらぶ おおきな木」「はっぴい・ぷれぜんと」「松尾小学校 読書ボランティア おはなしひろば」「たんぽぽの会」「のはらうたの会」「はじめの一歩」の 11 グループである。

なお図書館では、ひとりでも多くの子どもたちに読書の楽しさを知ってもらうために、この会に登録しているボランティアグループのリストを作成し、要請に応じて紹介している。

「鼎声のボランティアグループ」　　（会員数 14 名）

視覚障がいのある方々に聞いていただくため、「新聞コラム」（一週間分の新聞記事より抜粋）、飯田市議会だより、広報かなえ・公民館報かなえ、社協情報「おマメで」を録音しているボランティアグループ。平成 25 年 4 月現在、利用者数 10 名。

昭和 56 年、国際障害者年を契機に鼎町が募集して声のボランティアグループが発足、飯田市との合併を機に、鼎町図書館を拠点に活動を行うようになった。当初は飯田下伊那の史跡を訪ねる「史跡めぐり」を行い、その記録を図書にしたものをテープに録音して鼎地区内の視覚障がい者の方に郵送していたが、利用者の方の要望等により、現在は上記の録音を行っている。録音のほか、利用者の方との交流会、技術向上のための研修会、デジタル録音の研修会等を行っている。

「おむすびの会」（手づくり絵本の会）　　（会員数 17 人）

1981 年（昭和 56 年）夏、我が子の成長記録やつぶやきを書きとめておきたい、また自分自身の絵本を作りたい…との願いから、母親たちが図書館の協力を得て「飯田手づくり絵本の会」を立ち上げた。10 年後に心を込めてにぎるぬくもりあるおむすびにあやかって、「おむすびの会」と名称を変えた。

県内各地の手づくり絵本の会が、共に成長することを願い、横のつながりを持とうと長野県内連絡会を発足させ、その後愛知県、岐阜県へと広がり、現在では 19 の手づくり絵本の会が三県連絡会として活動している。その大きな事業の一つである「手づくり絵本巡回展」も 25 回を数え、今年も 15 会場に 200 冊以上の手作り絵本が展示される。一冊一冊手にとって読むことのできる巡回展は、手づくり絵本に直に触れてもらう大変良い機会である。

また、各地区の乳幼児・母親・高齢者学級や、小・中・高校などでも、手づくり絵本の普及に努めている。製本の方法や、表現の技法、作るための心構えやテーマの持ち方など指導に出向くことが増えている。もっと多くの人たちに世界に一冊だけの手づくり絵本の良さを知ってもらいたいと活動している。今後も子どものため、自分自身のために手づくり絵本を作りたいという方々の輪を広げていきたい。

「紅まんさく」（飯田創作童話の会）　　（会員数 8 人）

1983 年（昭和 58 年）3 月に中央図書館の講座の一つとして発足した創作童話研究会が当会の前身である。その当時開講されていた「子どもの本の学校」（著名童話作家の講演・講義）で学ぶと共に、自分でも童話を書いてみたいと希望する 80 人余が集まり始められた。

しかし、回を重ねるごとに書くことの難しさから、40 人・・20 人・・と減少し、自主運営するころには 15 人ほどになっていた。会の名称も《紅まんさく》（飯田創作童話の会）と改め、現在にいたっている。

発足後 8 年目に『紅まんさく，童話集１』を 16 年目に『同２』を出版した。毎月第３木曜日に例会を持ち、作品を発表しあっている。――作品には厳しく、人にはやさしく――をモットーとし、刺激し合いながらもよい仲間作りを実践している。

発足 27 年目にあたる平成 22 年３月に『紅まんさく，童話集３』を出版した。